

官報

號外 昭和十五年二月十日

○第七十五回衆議院議事速記録第十號

帝國議會

昭和十五年二月九日(金曜日)

午後一時四分開議

議事日程 第九號

昭和十五年二月九日

午後一時開議

第一 所得稅法改正法律案(政府提出)

第一讀會(前會ノ續)

第二 法人稅法案(政府提出)

第一讀會(前會ノ續)

第三 特別法人稅法案(政府提出)

第一讀會(前會ノ續)

第四 配當利子特別稅法案(政府提出)

第一讀會(前會ノ續)

第五 外貨債特別稅法中改正法律案

(政府提出) 第一讀會(前會ノ續)

第六 相續稅法中改正法律案(政府提出)

第一讀會(前會ノ續)

第七 建築稅法案(政府提出)

第一讀會(前會ノ續)

第八 礦區稅法案(政府提出)

第一讀會(前會ノ續)

第九 臨時利得稅法中改正法律案(政府提出)

第一讀會(前會ノ續)

第十 營業稅法案(政府提出)

第一讀會(前會ノ續)

第十一 地租法中改正法律案(政府提出)

第一讀會(前會ノ續)

第十二 酒稅法案(政府提出)

第一讀會(前會ノ續)

第十三 清涼飲料稅法中改正法律案

(政府提出) 第一讀會(前會ノ續)

第十四 砂糖消費稅法中改正法律案

(政府提出) 第一讀會(前會ノ續)

第十五 織物消費稅法中改正法律案

(政府提出) 第一讀會(前會ノ續)

第十六 揮發油稅法中改正法律案(政府提出)

第一讀會(前會ノ續)

第十七 物品稅法案(政府提出)

第一讀會(前會ノ續)

第十八 遊興飲食稅法案(政府提出)

第一讀會(前會ノ續)

第十九 取引所稅法中改正法律案(政府提出)

第一讀會(前會ノ續)

第二十 通行稅法案(政府提出)

第一讀會(前會ノ續)

第二十一 入場稅法案(政府提出)

第一讀會(前會ノ續)

第二十二 印紙稅法中改正法律案(政府提出)

第一讀會(前會ノ續)

第二十三 骨牌稅法中改正法律案(政府提出)

第一讀會(前會ノ續)

第二十四 狩獵法中改正法律案(政府提出)

第一讀會(前會ノ續)

第二十五 明治四十四年法律第四十五號中改正法律案(砂糖消費稅織物消費稅等ノ徵收ニ關スル件)(政府提出)

第一讀會(前會ノ續)

費稅等ノ徵收ニ關スル件)(政府提出)

出) 第一讀會(前會ノ續)

第二十六 大正九年法律第五十一號中改正法律案(內地臺灣又ハ樺太ヨリ朝鮮ニ移出スル物品ノ內國稅免除ニ關スル件)(政府提出)

第一讀會(前會ノ續)

第二十七 支那事變特別稅法及臨時租稅增徴法廢止法律案(政府提出)

第一讀會(前會ノ續)

第二十八 營業收益稅法廢止法律案

(政府提出) 第一讀會(前會ノ續)

第二十九 資本利子稅法廢止法律案

(政府提出) 第一讀會(前會ノ續)

第三十 法人資本稅法廢止法律案(政府提出)

第一讀會(前會ノ續)

第三十一 臨時租稅措置法中改正法律案(政府提出)

第一讀會(前會ノ續)

(左ノ報告ハ朗讀ヲ經サルモ參照ノ爲茲ニ掲載ス)

一政府ヨリ提出セラレタル議案左ノ如シ

政府出資特別會計法案

(以上二月八日提出)

一昨八日貴族院ニ於テ本院ノ送付ニ係ル左ノ政府提出案ヲ可決シタル旨同院ヨリ通牒ヲ受領セリ

(第一號昭和十四年度歲入歲出總豫算追加案

一議員ヨリ提出セラレタル議案左ノ如シ

靜岡市火災復興助成ニ關スル建議案

提出者

添田敬一郎君 中島彌圓次君

勝田 永吉君 池田 秀雄君

佐藤謙之輔君 中村三之丞君

明治二十五年三月三十一日
第三種郵便物認可

平野 光雄君 山田 順策君

高木榮太郎君 坂下仙一郎君

津倉 龜作君 今井 健彦君

野方 次郎君 山口忠五郎君

宮本雄一郎君 春名 成章君

倉元 要一君 牧野 良三君

深澤豐太郎君 鹽川 正藏君

增永 元也君 龍澤 七郎君

小串 清一君 河上丈太郎君

山崎 釵二君 松永 義雄君

川俣 清音君 太田 正孝君

清瀨 一郎君 大石 大君

椎尾 辨匡君 平野 力三君

北 勝太郎君

(以上二月八日提出)

一昨八日當任委員補關選舉ノ結果左ノ如シ

第五部選出

懲罰委員 今井 新造君(田中養達君

補關)

一昨八日議長ニ於テ選定シタル委員左ノ如シ

昭和十五年度一般會計歲出ノ財源ニ充ツル爲公債發行ニ關スル法律案(政府提出)

外五件委員

紫安新九郎君 宇賀 四郎君

矢野庄太郎君 古田喜三太君

林 平馬君 田中 邦治君

駒井 重次君 釘本 衛雄君

南雲 正朔君 川副 隆君

內藤 守正君 橫川 重次君

八角 三郎君 春名 成章君

木村作次郎君 小野 廉君

鶴 惣市君 森 幸太郎君

小谷 節夫君 小串 清一君

高島龜太郎君 河合 義一君

前川 正一君 三木 武夫君
小野 謙一君 笠井 重治君
田中 源君

○議長(小山松壽君) 會議ヲ開キマス、政府ノ都合ニ依リマシテ午後二時マデ休憩致シマス

午後一時五分休憩

午後三時七分開議

○議長(小山松壽君) 休憩前ニ引續キ會議ヲ開キマス、御諮リ致シマス、諸願委員長ヨリ、本日本會議中委員會ヲ開キタイトノ申出ガアリマス、之ヲ許可スルニ御異議アリマセスカ

(異議ナシト呼フ者アリ)

○議長(小山松壽君) 御異議ナシト認メマス、仍テ之ヲ許可致シマス——議事日程第一乃至第三十一ノ三十一案ヲ一括シテ第一讀會ヲ開キ前會ノ議事ヲ繼續致シマス——池本甚四郎君

- 第一 所得稅法改正法律案(政府提出) 第一讀會(前會ノ續)
- 第二 法人稅法案(政府提出) 第一讀會(前會ノ續)
- 第三 特別法人稅法案(政府提出) 第一讀會(前會ノ續)
- 第四 配當利子特別稅法案(政府提出) 第一讀會(前會ノ續)
- 第五 外貨債特別稅法中改正法律案(政府提出) 第一讀會(前會ノ續)
- 第六 相續稅法中改正法律案(政府提出) 第一讀會(前會ノ續)
- 第七 建築稅法案(政府提出) 第一讀會(前會ノ續)

第八 鑛區稅法案(政府提出) 第一讀會(前會ノ續)

第九 臨時利得稅法中改正法律案(政府提出) 第一讀會(前會ノ續)

第十 營業稅法案(政府提出) 第一讀會(前會ノ續)

第十一 地租法中改正法律案(政府提出) 第一讀會(前會ノ續)

第十二 酒稅法案(政府提出) 第一讀會(前會ノ續)

第十三 清涼飲料稅法中改正法律案(政府提出) 第一讀會(前會ノ續)

第十四 砂糖消費稅法中改正法律案(政府提出) 第一讀會(前會ノ續)

第十五 織物消費稅法中改正法律案(政府提出) 第一讀會(前會ノ續)

第十六 揮發油稅法中改正法律案(政府提出) 第一讀會(前會ノ續)

第十七 物品稅法案(政府提出) 第一讀會(前會ノ續)

第十八 遊興飲食稅法案(政府提出) 第一讀會(前會ノ續)

第十九 取引所稅法中改正法律案(政府提出) 第一讀會(前會ノ續)

第二十 通行稅法案(政府提出) 第一讀會(前會ノ續)

第二十一 入場稅法案(政府提出) 第一讀會(前會ノ續)

第二十二 印紙稅法中改正法律案(政府提出) 第一讀會(前會ノ續)

第二十三 骨牌稅法中改正法律案(政府提出) 第一讀會(前會ノ續)

第二十四 狩獵法中改正法律案(政府提出) 第一讀會(前會ノ續)

第二十五 明治四十四年法律第四十五

號中改正法律案(砂糖消費稅繳納物消費稅等ノ徵收ニ關スル件)(政府提出) 第一讀會(前會ノ續)

第二十六 大正九年法律第五十一號中改正法律案(内地臺灣又ハ樺太ヨリ朝鮮ニ移出スル物品ノ内國稅免除ニ關スル件)(政府提出) 第一讀會(前會ノ續)

第二十七 支那事變特別稅法及臨時租稅增徴法廢止法律案(政府提出) 第一讀會(前會ノ續)

第二十八 營業收益稅法廢止法律案(政府提出) 第一讀會(前會ノ續)

第二十九 資本利子稅法廢止法律案(政府提出) 第一讀會(前會ノ續)

第三十 法人資本稅法廢止法律案(政府提出) 第一讀會(前會ノ續)

第三十一 臨時租稅措置法中改正法律案(政府提出) 第一讀會(前會ノ續)

○池本甚四郎君 今回ノ稅制改革ハ、昨日ノ質問者モ申サレマシタ如ク、其ノ增收額ニ於テ、又特ニ中央地方ヲ通ジ體系ヲ根本的ニ改メラレマシタ點ニ於テ、我國稅制史上ニ一新紀元ヲ劃スルモノデアリマス、而シテ數年來議會ガ希望シテ參リマシタ根本改革ガ、兎モ角モ實現致シマシタモノトシテ、當局ノ勞ヲ多トスルモノデアリマス、現政府ハ之ヲ前内閣ヨリ承ケ繼ガレマシテ、其ノ儘提案セラレタノデアリマスガ、之ヲ拜見致シマシテ多少ノ疑點ヲ持チマシタノデ、以下聊カ之ヲ申述ベマシテ、當局ノ御所見ヲ伺ヒタイト思ヒマス

○池本甚四郎君 今回ノ稅制改革ハ、昨日ノ質問者モ申サレマシタ如ク、其ノ增收額ニ於テ、又特ニ中央地方ヲ通ジ體系ヲ根本的ニ改メラレマシタ點ニ於テ、我國稅制史上ニ一新紀元ヲ劃スルモノデアリマス、而シテ數年來議會ガ希望シテ參リマシタ根本改革ガ、兎モ角モ實現致シマシタモノトシテ、當局ノ勞ヲ多トスルモノデアリマス、現政府ハ之ヲ前内閣ヨリ承ケ繼ガレマシテ、其ノ儘提案セラレタノデアリマスガ、之ヲ拜見致シマシテ多少ノ疑點ヲ持チマシタノデ、以下聊カ之ヲ申述ベマシテ、當局ノ御所見ヲ伺ヒタイト思ヒマス

ナク、同ジ案デアリマシテモ、見マスル時、又見マスル心構ヘニ依リマシテ、異ツタ結論ガ出テ參ルコトハ、當然デアリマス、此ノ點ニ於テ只今ハ事變ノ眞只中デアアル、事ハ吾々ガ當初ニ豫期致シマシタ以上ニ困難ナル狀態ヲ呈シテ居ル、而モ前途ハ尙ホ容易デハナイ、吾々ガ只今此ノ案ニ對シマスル時ニハ、此ノ立場ヨリ眺レベキハ固ヨリデアリマス、此ノ見地ヨリ致シマシテ第一ニ考ヘサセラレマシタコトハ、今回ノ增收額ノ目標如何デアリマス、政府ハ四大目標ノ中ニ增收ヲ圖リト言ツテ居ラレマスガ、併シドノ程度ニ、或ハ如何ナル目標ニトハ申シテ居ラレマセス、事變以來今日マデノ增收ハ、當局ノ説明ノ如何ニ拘ラズ、事變以來發行致サレマシタル公債ノ支拂利子額ニ略シテ見合ツテ居ツタノデアリマス、然ルニ昨日モ小笠原君ガ申サレマシタル如ク、今回ノ增收額ハソレニモ當ツテ居ラナイ、然ラバ其ノ公債利子ニ事變關係ノ年金恩給額デモ加ヘラレタモノデアリマセウカ、ドウモ私ニハ分ラナイノデアリマス、仍テ御同致シマスルガ、此ノ增收額ノ目標ハ如何、若シ目標ガアルト致シマスルナラバ、ハツキリト御説明ヲシテ戴キタイト思ヒマス、又若シ其ノ目標ガナイト仰シヤルノデアアルナラバ、ソレハ唯單ナル算盤ノ出合ト云フ解釋ヲシテ宜イノデアリマセウカ、昨日此ノ點ニ付キマシテ御答辯ガアツタヤウニモ思ハレマスルガ、私ハ今一ツハツキリ致シマセナカツタノデ、茲ニ重ネテ御同致ス次第デアリマス、此處デ私ハ順序ト致シマシテハ一應此ノ質問ヲ切リマシテ、御答辯ヲ得テ更ニ質問ヲ續ケルベキモノト思ヒマスルガ、ソレガ出來マセヌノデ、引續キ申上ガ

マス

私ハ此ノ時局下ノ財政計畫ノ全體的立場ヨリ、此ノ額デ宜イノカドウカト云フコトヲ考ヘテ見タイト思ヒマス、我國ハ事變以來今議會ニ提案サレマシタル分、是ガ假ニ成立ヲ致スモノトシテ、之ヲ加ヘテ見マスル、事變費ハ申スマデモナク百六十五億圓ニ相成ツテ居リマス、併シ其ノ間軍事公債ハ百四十三億圓デアル、増税額ハ約十億圓ニナルト思ヒマス、是ニテ明年度總稅收ハ三十二億デアリマス、仍テ此ノ公債ト稅額トノ割合ハ四・八對一デアリマス、曩ノ歐洲大戰當時ノ英米等ハ三對一デアツタ、假ニ之ヲ標準ト致シマスルナラバ、尙ホ増徴シ得ル、而モ我國ノ現狀ハ言フマデモナクアレバアル程入用デアル、況ヤ今後事變ガ終了致シマシテモ、尙ホ當分ハ毎年ノ豫算ハ數十億圓ヲ下リ得ナイト申サレテ居リマス以上ハ、出來ルナラバ尙ホ此ノ上ニモ増收ヲ得タイト考ヘルノハ當然デアラウト思ヒマス、ソコデ問題ハ是レ以上ニ他ニ大キナ支障ナクシテ出シ得ルカドウカト云フ點デアリマス、昨日ノ質問ニ於キマシテ租稅ノ負擔ノ重イコトヲ論ゼラレマシタ、如何ニモ個々ノ負擔者ノ負擔額ニ付テ見マスルト、近來非常ニ多額ニナツテ居リマス、或者ハ地方稅ヲ合セマスト六割一分七厘モ増シテ居ル、又或者ハ四割七分五厘ニナツテ居ルヤウナ譯デアリマシテ、是等ノ點ヨリ見マスルト、固ヨリ容易ニ是レ以上ノ増稅ナドハ口ニシ得ナイノハ當然デアリマス、併シソコニドウモ私トシテ割切レナイ所ノ或ルモノヲ始終感ジサセラレテ居ルノデアリマス、ト申シマスノハ一方ニ高イノト惱ンデ居ル者ガアリマスガ、他方ニハ朝

ニタニ暖衣飽食、酒池肉林三昧ノ徒モアルヤウナ有様デアル、或者ヨリハ儲ツテ仕樣ガナイト放言セラレタコトモアリマス、統制違反ノ嫌疑ヲ受ケタル所ノ某々大綿絲業者ガアリマシタガ、數日致シマスルト新聞ニ麗々シク百万圓何々獻金ト云フコトガ出テ居ツタ、私ハ結局儲ケノアル所ニハ儲ケガアルモノダト云フ感ジヲ禁ジ得ナイノデアリマス、ソコデ國民所得ト租稅トノ割合ヲ見マスルト、昨十四年度ノ國民所得ヲ二百二十六億圓ト推算致シマシテ、税金ハ約三十億圓、一割三分三厘ニ當ツテ居リマス、所ガ昭和五年度ニ國民所得ハ百四億圓ト致シマシテ、税金ハ十四億三千萬圓デアリマシテ、ヤハリ一割三分七厘デ、却テ十四年度ノ方ガ此ノ率ニ於テハ減ジテ居ルヤウナ有様デアル、我國デモ明治二十七年ニハ國民所得ハ二億二千六百萬圓デアリマシテ、税金ハ國稅ダケデ七千五百萬圓デアリマシタカラ、既ニ其ノ當時ニ割五分ノ負擔ヲ致シタコトガアルノデアリマス、最近ノ外國ノ例デハ英國ガ二割七分五厘、獨逸ハ二割七分デアリマス、以上カラ見マスルト、個々ノ負擔ハ激増致シ、而シテ全體ノ統計ト致シマシテハ尙ホ餘力ヲ示シテ居ル、此ノ事實ハ何處カニ尙ホ引上ゲニ堪ヘ得ル方面ガアルコトヲ示スモノニ外ナラナイト考ヘテ居ルノデアリマス(拍手)小人玉ヲ懷イテ罪アリ、須ク斯様ノ者カラハ、ソレガ分ルナラバ、或ル程度以外ハ勸辦ヲ致スモノトシテ、ソレ以上ハ取上ゲルガ宜シイ、ソレハソレ等ノ者ノ個人ノ身ノ爲デモアル、固ヨリ私ハ謂ハレナクシテ取上ゲヨト申スノデアリマセス、併シナガラ其ノ引上ゲガ聽デハ擬ツテ國策トナルノデアアル、今ハ

最モ必要ナル所ノ惡性「インフレ」防止等ノ大役ヲ勤メルノデアリマス、ソコデ然ラバ生産擴充ニ影響ガアルデハナイカト云フ御説モ出マセウガ、ソレハ或ル程度ノモノハ殘シテヤルノデ、ソレ以上ノ餘レルモノヲ取ルノデアリマスカラ、此ノ點ニ於テ私ハ別段ニ影響ハナイト思フ、ソレデモ尙ホアルト仰シヤルナラバ、ソレハ此處デ其ノ物動計畫デモハツキリト説明ヲシテ戴ケバ分ルカラ、又考ヘ直シテモ見マセウ、ソコデ次ノ問題ハ、然ラバ其ノ餘地ガ何處ニアルカト云フコトデアアル、斯ク申シマスルト直グニ上層階級ノ方面ガ考ヘラレルデアラウト思ヒマスガ、併シ今日ノ景氣ハ私思ヒマスルニ、必ズシモ左様ナル方面ノミニアルモノトハ私ハ考ヘナイ、ソコニハ吞舟ノ魚モアリマスガ、又細鱗ノ魚モアル、何レニ致シマシテモ當局ハ能ク其ノ眞ノ姿ヲ突止メラレマシテ、捉ヘルベキモノハ捉ヘナケレバナラナイト考ヘルノデアリマス、以上私ハ我國現下ノ財政計畫的ノ立場ヨリ致シマシテ、又生産擴充ト時局經濟政策ニ支障ナク、而シテ又惡性「インフレ」ヲ防止徹底致ス所ノ立場カラ見マシテ、尙ホ徵收シ得ルナラバ徵收ヲシテ宜シイ、尙ホ增收ヲ圖ルベシ、而シテ幸ニ其ノ餘地モアルカノヤウニ思ハレルノデアリマスガ、此ノ點ニ對シマスル當局ノ御所見ヲ伺ヒタイト思フノデアリマス

第二ハ負擔均衡ノ點デアリマス、凡ソ戰時財政ト云フ立場ヨリ見マスナラバ、所謂負擔均衡ナルモノハ、必ズシモ私ハ第一義トハ思ツテ居リマセス、ソレハ平時ニ於テハ最モ必要ナルコトデアリマスガ、現下ノ戰時ト致シマシテハ、ソレハ昨日小山議員モ申サレマシタ如クニ、其ノ負擔均衡ハ或ル意味ニ於キマシテハ、全國民ガ齊シク難ニ赴ク態ノ普遍化ノ意味ニモ解サレルモノト思フノデアリマス、併シ此ノ際ト雖モ勿論出來得ル限リ此ノ負擔均衡ノ線ニ沿フベキコトハ當然デアリマス、又政府モ之ヲ四大目標ノ中ニ掲ゲラレマシテ、昨日藏相モ現ニ御説明ガアツタノデアリマスカラ、一應御伺ヲ致スノデアリマス、今回ノ改正ニ於キマシテハ當局ガ此ノ點ニ努力ヲ拂ハレマシタ跡ハ認メマス、併シソレナラバ此ノ案ノ全部ガ是デ十分デアルカドウカ、是ハ少シ小サクナルカモ知レマセヌガ、其ノ一例トシテ掲ゲルノデアリマス、不動産所得ト營業所得ノ分類所得稅ヲ取ツテ見マス、ココニ同ジ千圓ノ所得ガアル、田畑所得ハソレニ對シマシテ百九十三圓ノ課稅ガ致サレ、營業ハ百一十一圓デアリマスカラ、田畑ハ一倍七分四厘ニ當ルノデアリマス、同ジ三千圓階級ヲ押ヘテ見マス、田畑ハ千五百五十七圓、營業ハ千八百八十一圓、丁度田畑ガコデモ一倍五分四厘ニナツテ居ルノデアリマス、ソコデ此ノ田畑所得ノ千圓、三千圓デアリマスガ、是ガ一塊ノ土クレヨリ生ズル收入ト云フ風ニ唯物的ニ私ハ見タクナイ、此ノ收入程度ノ者ハ二町、三町ノ小地主階級デアリマシテ、現在地方ニ於キマシテ實際ニ疲弊ヲ對シテ居ルノハ此ノ階級デアル、此ノ對象トナリマシタ營業者ハ、無論中小商工業者ト致シマシテ、是モ大切ナル階級デアリマス、併シ此ノ小地主階級コソ地方ノ農山村ニ於キマスル指導階級デアリマシテ、絕對存在ヲ必要トスルモノデアリマス、然ルニ此ノ五割モ致シマス負擔表ヲ平氣デ發表致

サレマスル氣ガ私ニハ分ラナイ

次ニハ土地配當利子ト付テ、同ジ所得ニ對シマスル分ハドウカト見マス、土地ノ一〇〇ニ對シマシテ配當利子ハ五八・六ノ正ニ半額デアル、是等ニハ固ヨリ色々ト制度ヲ立テラレル上ニ於テ、當局モ御考ニナツタデアリマセウ、ソレデ私モ色々ト考ヘテハ見マシタガ、色々ノ事情ヲ考慮致シマシテモ、是ハ餘リニ差ガ酷イデハナイカト私ハ思フ、右ハ一例デアリマスガ、是等ノ不均衡ニ對シマスル政府ノ御所見ヲ御伺致シマス、先程一言致シマシタ負擔均衡ヲ今ノ時局的ノ立場ヨリ見マシテ、之ヲ普遍化スルヤウナ場合ニ於キマシテ、茲ニ廳テ直接稅ト間接稅ニ對シマスル課稅ノ歩合問題等ガ出テ參リマセウガ、ソレハ次ニ御伺ヲ致スコトニ致シマス

第三ハ只今申シマシタル此ノ租稅ノ課稅方向デアリマス、増稅ノ方向トデモ申シマスルカ、即チ直接稅ト間接稅課稅ニ對スル一般ノ大方針ヲ政府ニ御伺致シタイ、私ハ茲ニ其ノ稅額デアルトカ、或ハ率ニ付テトカ云フヤウナ問題ヲ申スニハアラズシテ、ソレ等ノ兩種ノ稅ニ對スル課稅ニ付テ政府ノ心組ミ、其ノ根本的ノ御見解ヲ承リタイト思フノデアリマス、近時我國ノ増稅ノ方向ハ急激ニ直接稅ノ歩合ガ増シテ參ツテ居リマス、諄イヤウデアリマスルガ、少シ數字ヲ申シマスルナラバ、昭和四年度ニハ總稅一〇〇ト致シマシテ其ノ中ノ四二・二ガ直接稅デアツタ、十三年度ニハソレガ五八・三ニ増シテ居リマス、十四年度ニハ六〇・一ニ相成ツテ居ル、今回ノ増稅ノ内容ハ凡ソ直接稅ガ七、間接稅ガ三位ニナツテ居ルモノト思ヒマス、ソコデ私ハ之ニ

ハ平時ト戰時トノ見方ノ相違ガアルベキダ

ト思フノデアリマス、即チ平時的ニ、或ハ舊自由主義的觀念ニ依リマスルナラバ、成ベク直接稅ニ多ク間接稅ニ少クト云フノガ常識デアルコトハ、是ハ申スマデモアリマセヌ、併シナガラ此ノ戰時難局ニアリマシテハ國民皆之ヲ擔フノ精神ニ於キマシテ、將又所要ノ稅額ヲ調達致シマスル點ニ於キマシテ、奢侈抑制等ノ見地ニ立チマシテ、消費稅ノ増徴モ強ヒテ否ムベキデハナイト思フノデアリマス、固ヨリ私ハ有ユル間接稅ニ付テ之ヲ申スノデアリマセヌ、併シナガラ特ニ其ノ中例ハバ奢侈稅ノ如キモノハ、今回モ御引上ニハナツテ居リマスルガ、尙ホ一層ノ考慮ガ可ナルモノデハナイカト思フノデアリマス、此ノ點ニ於キマシテ政府ノ態度ハ寧ろ消極的デハナカツタカト思ヒマス、此ノ點ニ關シマスル政府ノ御所見ヲ承リタイト思フノデアリマス、私ノ國稅ニ對シテ御伺致シマスルコトハ大體以上デアリマス

第四ニ地方稅率ニ付キマシテ少シク御伺致シマス、其ノ第一ハ分與稅制度ト地方自治ノ獨立性ニ付テデアリマス、是ハ昨日小山議員モ質問致サレマシタノデ多クハ申シマセヌ、併シ實際ニ計算ヲ致シテ見マスルト、餘リニ數字上ノ影響ガ大キイノデアリマス、ソコデ念ノ爲ニ重ネテ此ノ點ニ觸レテ見ルノデアリマスガ、之ヲ全體的ニ見マスルト、申スマデモナク今回ノ案デハ地方稅ノ總額ガ十億三千万圓デアル、其ノ中分與稅トシテ交付セラレマス分ガ、是ハ調整交付ノ分デアリマシテ、原地還付ノ還付稅ニ入ツテ居リマセヌ、讓與稅ト申シテ居リマスガ、其ノ讓與稅ハ入ツテ居リマセヌ、調整交付ノ分ノ交付稅ガ約三億

五六千万圓、即チ總額中ノ三割四分ニ相成

ツテ居リマス、是ハ先年ノ馬場案ノ時ノ財政調整交付金ガ二億九千万圓デアツタト思ヒマスガ、其ノ時ノ地方稅總額ニ對スル割合ニ優ルトモ劣ラナイ率ダト私ハ思ヒマス、立場ヲ變ヘマシテ、此ノ制度ヲ受ケマス地方ノ團體側ヨリ見マス、第一ニハ府縣財政デアリマスガ、例ヲ私ノ方ノ京都府ニ取ツテ見マス、十五年度ノ當初豫算デアリマスガ、各稅ノ合計ガ當初豫算ニ於キマシテハ九百八十四万三千圓デアリマシタガ、此ノ改正ニ依リマシテ五百五十七万二千圓トナリ、其ノ減少額ハ差引四百二十七万圓、減少歩合ガ四割三分四厘デアリマス、併シ之ニ伴ヒマシテ、例ヘテ申シマスナラバ、警察費ノ國庫負擔金ガ増サレテ參ツタ、併シシナガラ支出ノ殖エル部分ト致シマシテハ、町村ヨリ繰上ゲラレテ參リマシタ小學教員給ノ正味ノ負擔金、是等ノ出入ラ差引キマシテ、結局稅ニ於キマスル減收ニ加ヘテ二百二十七万五千圓ガ減ズル總計六百五十四万八千圓ガ減ズルノデアリマス、京都府ノ豫算ハ總額千七百圓デアリマスカラ、其ノ中三割八分五厘ト云フモノハ無クナツテシマフ、今度之ヲ分與交付セラレタルノデアリマセウ、次ニハ町村財政デアリマスガ、是ハ諄クナリマスカラ數字ハ申シマセヌ、併シナガラ是モ亦歲入減ガ約三割以上ノ見込デアリマス、特ニ此ノ市町村ニ付テ考フベキコトハ、府縣ト異リマシテ、原地還付ノ分與稅ト云フモノガナイ、唯一本ノ調整交付金デアリマス、ソコデ町村ノ立場ハ、府縣ヨリモ尙ホ或ル意味ニ於テハ弱イト言ハナケレバナラナイ、抑、此ノ分與稅ノ性質ニ付キマシテハ色々ニ申サレマス

ガ、兎ニ角其ノ影響ハ餘リニ大デアル、其ノ爲ニ町村自治ノ獨立性、地方財政ノ彈力性ガ脅カサルコトナキヤハ惧レルノデアリマス、要ハ制度ノ運用ニアリマセウ、金額ヲ減ラセバ其ノ私ノ虞モ減ツテ參ルヤウナ譯デ、制度ノ根本ガドウト云フ譯デハナイ、運用ノ問題デアルト考ヘマスガ、一應此ノ點ニ付キマシテ内相ノ御所見ヲ伺ツテ置クノデアリマス、尙ホ此ノ場合ニ地方財政運用ノ圓滑ヲ期スル爲ニ、地方團體中央金庫ノ設置ガ、當局ニ於テ研究セラレツツアルト聞キマスガ、之ニ對シマスル御所見ヲモ併セテ承ツテ置キタイト思ヒマス

其ノ次ハ市町村民稅デアリマスガ、之ニ

付キマシテ、私ハ可ナリ多ク御伺致シタイ事ヲ持ツテ居リマスガ、是ハ他ノ機會ニ讓ルコトニ致シマス

以上デ私ノ質問ハ終リマスガ、茲ニ稅、即チ國民、地方民ノ負擔ニ關聯スルモノト致シマシテ、二ツノ希望ヲ簡單ニ申述ベテ、御考慮ヲ煩ハシテ置キタイト思ヒマス、其ノ一ツハ單價ノ引下ト、會社內部ノ經理監督強化ノ問題デアリマス、申スマデモナク政府ハ最大ノ消費者デアリマスノデ、買入單價ノ如何ハ直チニ豫算ニ影響シ、延イテ稅金ニ關係ヲ致シマス、全國民ノ犧牲ニ於テ一箇半箇ノ者ニ過當ナ利益ヲ得セシメテハナラナイ、此ノ點ニ於テ單價ノ引下ガ絕對ニ必要デアルト思ヒマス、政府モ固ヨリ今日マデ此ノ點ニ關シマシテ、色々企圖致サレテ居ルヤウデハアリマスガ、實際ノ社會ノ現狀ヲ見マス、尙ホ極メテ不十分ダト云フ感ヲ私ハ禁ジ得ナイノデアリマス、故ニ出來得ル限り急速ニ、一層其ノ徹底ヲ期セラレルヤウニ要望致シテ

置ク次第デアリマス

其ノ二ハ、國ト地方負擔區分整理ノコトデアリマスガ、是ハ内相ニ申上ゲテ置キマス、地方財政ノ整理ト共ニ必要デアリマスノハ、此ノ國、地方負擔區分ノコトデアリマス、今回小學教員給ノ定率負擔制度、又警察連帶支辨ノ均整等ヲナサラウト致シテ居リマスガ、此ノ點ハ私ハ洵ニ結構デアルト思ヒマス、併シ尙ホ地方ニ於キマス委任事務ハ實ニ多キニ過ギテ居ル、少シ統計ハ古クアリマスガ、昭和九年度豫算ニ於ケル數字ヲ見マス、市町村費總額中、委任事務費ハ實ニ四割二分一厘ヲ占メテ居ル、之ニ對シマシテ國庫ノ支出ハ其ノ中ニ僅ニ一割三厘ニ過ギナイ、特ニ此ノ事變以來ハ又是ガ非常ニ増加ヲ來シテ居リマス、中ニハ上級官廳ノ事務ノ不統一ヨリ來リマス所ノ二重三重ノ無用ナ事務モ甚ダ多イノデアリマス、明年度ノ豫算ニハ是等ニ對スル町村ニ向ツテノ多少ノ考慮ガ拂ハレテ居ル點ガアルヤウデアリマスケレドモ、尙ホ一層此ノ點ニ付キマシテ御考慮ヲ煩ハシテ置ク次第デアリマス

以上質問ノ部分ニ付キマシテ、何卒當局ノ明確ナル御答辯ヲ煩ハシタイト思ヒマス(拍手)

(國務大臣櫻內幸雄君登壇)

○國務大臣(櫻內幸雄君) 池本君ノ私ニ對スル御質疑ニ對シテ答辯致シマス、第一ハ増稅ノ目標ヲ何處ニ置イタノデアルカ、從來ノ増稅ノ目安ハ大體ニ於テ公債ノ利子ヲ支辨スル程度デアツタガ、此ノ度ハ此ノ金額ヲ超シテ居ル、其ノ目標ハソコニ置イタノデハナイカト云フ風ナ御尋デアリマシタガ、要シマスルノニ、現下ノ時局カラ考ヘ

マシテ、色々ナル點ニ於テ非常ナ巨額ノ國費ノ要ルコトハ御承知ノ通りデアリマス、隨ヒマシテ事變下ニ於ケル財政ト致シマシテハ、或ル部分ハ稅收入ニ俟ツ、或ル部分ハ公債財源ニ俟ツト云フコトハ、已ムヲ得ナイ實情デアリマス、而シテ出來得ル限リ多クノ部分ヲ國民ノ負擔力ニ俟ツト云フコトガ宜イノデアリマスケレドモ、併シナガラ經濟界ノ實情ヲ考慮シ、又產業界ニ打擊ヲ與ヘザルヤウニ致シ、而シテ國民生活ニ不安ナカラシムル見地カラ致シマシテ、此ノ稅額ヲ定ムルコトハ可ナリ容易ナコトデハナイノデアリマス、今回ノ増稅ノ目標ハツテモ、其ノ爲ニ經濟上ノ不安ヲ喚ビ起サナイト云フ程度ヲ目標ト致シタノデアリマス、其ノ金額ハ今日ト致シマシテハ、所謂公債ノ利子ヨリハ多イカモ知レマセス、併シナガラ今後尙ホ相當長キニ亙ツテ巨額ノ經費ノ要ルコトハ、長期建設ノ段階ニ於テ已ムヲ得ザルコトデアリマスノデ、此ノ點ヲ睨ミマシテ、大體ニ於テ此ノ程度ナラバ差支ナカラウト考ヘマシテ、其ノ見地カラ之ヲ定メタ譯デアリマス、更ニ今日日本ノ經濟上ノ實情カラ見レバ、此レ以上或ハ増稅ヲ致シテモ差支ナイヤウニ見ルガ、其ノ點ニ付テドウ考ヘテ居ルカト云フ風ナ御意見デアツタト思ヒマスガ、固ヨリ今日ノ我が經濟界ノ實情ヲ具サニ考ヘテ見マス、或ル一部分ニ於テハ是ダケノ稅デモ非常ナ重稅デアルト思ハレマスケレドモ、又一面ニ於テ尙ホ是レ以上ノ負擔力ノアル方面ノアルコトモ認メラレノデアリマス、併シナガラ兎ニ角現在ノ實情ヲ考慮致シマシテ、此ノ程度ノ増稅ヲ致シテ、サウシテ經濟界

ニ及ブ影響等モ之ヲ見ルト云フ必要ガアルト思フノデアリマス、隨ヒマシテ本増稅案ガ通過シタ曉ニ於キマシテ、差當リ之ニ對シテ更ニ増稅ヲ致スト云フ考ハ持ツテ居リマセスケレドモ、經濟界ノ今後ノ推移ニ依リマシテ、或ハ更ニ之ニ對シテ研究致サナケレバナラスコトガ起ツテ來ルカトモ思フノデアリマス

次ニ負擔ノ均衡ニ付テノ御質疑デアリマシタガ、御質疑中土地ノ所得、營業上ノ所得、配當上ノ所得ニ付テノ種々ナル實例モ御示ニナリマシタガ、其ノ點ニ付キマシテハ少シク數字ニ對シテ私疑問ヲ持ツテ居リマスノデ、別ノ機會ニ於テ申上ゲマスガ、不動産ノ所得ガ他ノ營業所得並ニ配當所得等ニ對シテ、高キニ失スルデハナイカト云フ風ナ御意見ニ付キマシテハ、是ハ種々ナル方面カラ研究ヲ致シマシテ、大體此ノ程度ニ於テ差支ナイモノト考ヘマシタ同時ニ、所謂家族控除デアルトカ、サウ云フモノガアルコトモ考慮ヲシテ決メタ譯デアリマシテ、私共ハ是デ大ナル不都合ガナイト思ツテ居ルノデアリマス

次ニ直接稅ト間接稅トニ付テノ御意見ガアリマシテ、直接稅稅ガ年々殖エテ行ツテ、間接稅ガ稍、減リツツアルト云フ狀況デアルガ、更ニ間接稅ニ付テ考慮ヲシテ見テハドウカト云フ御意見デアリマス、御承知ノ通り今回ノ五億圓ノ增收ノ中デ大體三億圓ハ直接國稅デアリマス、二億圓ハ間接稅デアリマス、此ノ比率ガドウデアアルカト云フコトニ付キマシテハ、今マデノ實際ノ經驗上カラ大體之ニ依ツテ差支ナイト思フノデアリマス、殊ニ消費稅ノ點ハ一般大衆ガ多ク負擔スルノデアリマスカラシテ、出來得

ル限リ此ノ點ニ付テハ注意ヲ拂ヒマシテ、此ノ消費稅ニ於キマシテハ奢侈品デアルトカ、或ハ國民生活ニ直接關係ノ薄イ方面ニ多クノ増稅ヲ致シタノデアリマス、今後ニ於キマシテ消費稅ノ點ニ付キマシテ考慮ヲ拂フト云フコトハ固ヨリデアリマスケレドモ、今日ノ實情カラ申セバ、此ノ奢侈的方面及ビ國民生活ニ直接ニ影響ノ薄イ方面ニ増稅ヲ致スト云フコトガ適當デハナイカト思ツテ、斯様ニ決メタ譯デアリマス

地方稅ノ問題ニ對シマシテハ內務大臣ニ對シテノ御質疑デアリマスカラ、私ハ此ノ際差控ヘテ置キマスガ、政府ノ豫算實行ニ對シテ單價ノ引下ヲ致スト云フコトニ對シテ、十分ナル努力ヲシナケレバ相成ラスデハナイカト云フ御意見ニ對シマシテハ、全然同感デアリマス、若シ此ノ單價ニ付テ政府ノ注意ガ足ラズ、監督ガ不十分デアリマシタナラバ、ソレハ豫算ノ膨脹ヲ招キマスノミナラズ、低物價政策ニモ背クノデアリマシテ、此ノ點ニ付テハ十分力ヲ致ス次第デアリマスガ、現在ニ於テモ陸海軍其ノ他ニ於キマシテ、或ハ検査官或ハ經理官ト云フモノヲ各工場其ノ他ニ派遣致シマシテ、十分監督ヲ致シテ居リマスガ、更ニ一層此ノ點ニ付テハ深甚ノ注意ヲ拂ヒタイト、斯様ニ考ヘテ居ルノデアリマス(拍手)

(國務大臣伯爵兒玉秀雄君登壇)

○國務大臣(伯爵兒玉秀雄君) 分與稅ト地方自治ノ關係ニ付テノ御質問ニ對シマシテ、此ノ問題ハ地方稅制ヲ定メマスニ於テ最重要ナル一點デアアルノデアリマス、稅制ヲ定メマスル上ニ於キマシテ、地方自治根本ノ精神ヲ破壞シナイヤウニ、而シテ地方ノ財源ノ確立ヲ期シマスヤウニト考ヘテ、

本案ヲ制定致スコトニ致シタルノデアリマスガ、其ノ趣旨ニ於キマシテ、分與稅ニ於テ地方ノ獨立財源トシテ與ヘタルモノハ、昨日モ申上ゲマシタル通りニ地租、家屋稅及ビ營業稅ノ如キ最モ強力ナル財源デアアルノデアリマス、隨ヒマシテ此ノ財源ニ依リマシテ地方ハ其ノ自治的活動ヲ十分ニシ得ルモノト考ヘテ居リマス、ノミナラズ貧弱ナル町村ニ對シマシテハ、分與稅ノ制度ニ依リマシテ新ニ財源ヲ與フルコトニナリマスルカラ、地方一般ノ自治的活動ハ之ニ依ツテ活氣ヲ呈シ、十分ニ自治的制度ノ活用ヲ見ルコトト考ヘテ居ルノデアリマス、尙ホ數字ニ付テノ御説明ガアリマシタガ、是ハ他日本案ノ提案ニナリマシタル際ニ讓リタイト思ヒマス

第二ノ點ハ地方團體中央金庫ヲ設ケテハドウカト云フ御説デアリマスルガ、是ハ地方財政ノ運用ヲ圓滿ニ致ス上ニ於テ、有力ナル一ツノ考デアアルノデアリマス、此ノ點ニ於テハ特ニ研究ヲ致シテ居リマスルガ、マダ此ノ可否ヲ申上ゲルマデノ機會ニ達シテ居ラスノヲ遺憾ト致スノデアリマス、最後ニ國費ト地方費ノ分擔區分ノ問題デアリマス、是ハ地方財政ノ確立ノ上ニ於キマシテ、最モ重要ナル他ノ一點デアアルノデアリマス、而シテ之ヲ適當ニ解決スルコトハ、國ノ財政等ニ配合セテ困難ヲ感ズベキ問題デアアルノデアリマスルガ、今回ノ稅制改正ニ於キマシテハ、只今御指摘ニナリマシタ警察費ノ國庫分擔金ヲ、地方ノ分ヲ三割五分ニ増加シ、又義務教育ノ負擔金ヲモ増加ヲ致シマシテ、地方ニ對シマスル國庫ノ援助ヲ濃厚ニ致シマシタルデアリマス、尙ホ此ノ點ニ於キマシテハ國家ノ財政ト伴ヒ

マシテ、今後ニ於キマシテモ大イニ考ヘナケレバナラス點ガ殘サレテ居ルト考ヘテ居リマス、御質問ニ御答申上ゲマス(拍手)
○池本甚四郎君 簡單デアリマスルカラ、此ノ席上ヨリ發言ノ御許ヲ願ヒマス
○議長(小山松壽君) 許可致シマス
○池本甚四郎君 只今大藏大臣ノ御答辯中負擔均衡ノ點ニ付キマシテ、私が舉ゲマシタル數字ニ疑問ヲ持ツテ御居デノヤウデアリマスガ、是ハ實ハ大藏省ヨリ發表ニナリマシタル數字ヲ基礎ト致シタモノデアリマスルカラ、左様ニ御承知ヲ願ヒマス、其ノ他兩大臣カラノ御答辯ニ付キマシテ、了解致シマシタル點モアリ、尙ホ稍、了解致シ難キ點モアリマスルガ、是等ニ付キマシテハ又他日ノ機會ニ讓ルコトニ致シマス、是デ私ノ質問ハ打切りマス

○議長(小山松壽君) 森田福市君
(森田福市君登壇)
○森田福市君 我ハ總理大臣、大藏大臣、內務大臣、商工大臣、農林大臣ノ方々ニ御尋申上ゲタイト存ジマス、昨日來ノ御質問ノ方々ニ對スル答辯ヲ拜承致シマシテ、大體同ジヤウナ趣旨ニナルノデアリマスガ、私ノ御尋セント考ヘマスル所ハ、極ク率直ニ、一ツ具體的ニ御尋申上ゲテ答辯ヲ煩ハシタイト存ジマス

今回ノ稅制ノ改革ハ、中央ト地方ヲ通ジタル負擔ノ公正並ニ負擔ノ均衡ヲ保ツト云フコトト、稅制ノ簡易化、增收トガ主ナル目的デアルト述ベラレテ居ラレルノデアリマスガ、私ハ今回ノ增收ハ或ハ其ノ通りニナツテ居ルカモ存ジマセスガ、他ノ負擔ノ均衡デアルトカ、或ハ稅制ノ簡易化デアルトカ云フヤウナコトハ、御述ニナツタコトト

實際トガ間違ツテ居リハシナイカト考ヘルノデアリマシテ、此ノ點ヲ大藏大臣ニ御尋シタイト思フノデアリマス
負擔ノ公正ト云フコトデアリマスルガ、昨日來モ御話ガアツタノデアリマス、私ハ負擔ノ公正ハ今度ノ稅制ニ依ツテ一層不公平ニナツタト思ハレル節ガ多アルノデアリマス、御承知ノ通りニ分類所得稅ニ於テ百分ノ六ヲ課スルト云フノハ六百圓以上ノ勤勞所得デアアル、又事業所得ニ對シテ百分ノ八・五ヲ課ケルノハ、四百圓以上ノ所得者デアルト云フノデアリマス、是等ハ何レモ六百圓以上或ハ四百圓以上ノ、五千圓以下ノ者ニ課セラレルノデアリマスガ、勤勞所得デ月給五十圓ノ者ト云ウタラ今日最低ノ月給取デアリマセウ、其ノ最低ノ月給取モ百分ノ六ヲ課セラレ、勅任官ノ二等ドコロノ年俸四千八百圓程度ノ者モヤハリ百分ノ六ノ割合ヲ課セラレルトシタナラバ、以前ノ第三種所得稅課ケテ居ツタ段階トハ非常ナ相違ガアルノデアリマス、是デ果シテ負擔ノ公正ト云ハレルノデアリマセウカ、リマセス、綜合課稅ニ入ツテ來ナイヤウニシテアル、要スルニ此ノ稅制ヲ作り上

ダタ人々ノ便利ヲ頭ノ中ニ置イテヤラレタノデハナイカト疑ハレル節ガアルノデアリマス(拍手)事業所得ノ方面デモ年四百圓ノ所得一家ノ生計ハ保ツテ行カレルトハ考ヘラレマセス、年四百圓ノ事業所得ニ對シテハ、年六百圓ノ勤勞所得ヨリモ稅率ハ高クナツテ居リマス、稅率ハ二・五ト云フモノガ高クナツテ居ルノデアリマスカラ、此ノ稅制ヲ御作りニナルニ際シテハ、決シテ負擔ノ公平ト云フヤウナコトヲ仰シヤツ

テモ、事實トハ合ツテ居リマセス、殊ニ御承知ノ通りニ分類所得稅ヲ課ス外地ニ住居ヲ有シテ居ル人々ハ綜合課稅ハ課セラレマセス、分類所得稅デ課セラレル、分類所得稅ガ現行法ニ依ルト十二・半デアリマシタ、支那事變ニ依ル特別増稅共ニ加ヘテ十二・半デアツタモノガ、今度ハ僅ニ二・半ノ増稅デケデアツテ、分類所得稅ハ百分ノ十五ヲ納ムレバ、其ノ綜合所得稅ハ悉ク免レルコトニナルノデアリマス、斯ウ云フヤウニ御話申上ゲルト、私ハ負擔ノ公正ハ全然期セラレテ居ラス、又稅制ヲ簡易化スルト云フ約束デアツタニモ拘ラズ、今度ノ新稅法ハ十一件アリマス、サウシテ舊法ノ廢スルモノガ四件アリマス、差引七件ハ稅種類ガ多クナツタ、是デ稅制ヲ簡易化シタトハ私ハ言ハレスト思フ、又改正セラレルモノガ十五件アル、稅制ハ一層複雑多岐ニナツテ參ツタノデアリマスカラ、單純化スルト云フ御話トモ全然違ヒマス、斯ウ云フ風ニ杜撰ト申上ゲレバ失禮カモ知レマセスガ、當ヲ得ナイ、最初提案ラスルト、昨年ノ春ノ議會ニ稅制ノ委員會ノ席上デ、時ノ大藏大臣ノ石渡サンガ、突如トシテ言明サレタノデアリマスカラ、次ノ議會ニ出サナケレバナラナイ關係上、私ハ非常ニ御急ギニナツタ結果ガ、斯ウ云フ風ナモノガ生レテ出タノデヤナイカト思フ、而モ今ノ大藏大臣ハ檢討ノ結果、前內閣デ作り上ゲタ此ノ稅制ヲ踏襲スルコトニシタト仰シヤルノデアリマスガ、果シテ一日カ二日、三日ノ檢討此ノ複雜多岐ナ稅制ノ御檢討ガ出來タノデアリマセウカ、私ハ此ノ點ニモ非常ナ不審ヲ持ツテ居ルノデアリマス
大藏大臣ニ對スル質問ノ具體的ノ第一點

ヲ申上ゲマスナラバ、昨日ノ本案ノ提案ノ御説明ニ際シマシテ、平年度ノ稅增收ガ八億一千四百萬圓、十五年度ノ分ハ六億四萬圓ノ增收ガアルト御話ニナツタノデアリマス、此ノ平年度ノ八億一千四百萬圓、十五年度ノ六億四萬圓ノ增收ノ算出ノ根據ハ示サレテ居リマセヌ、是ガ從前ノヤウナ稅制デアツテ、在來ノ稅制ニ依ツテ唯稅率ヲ高メテ行クダケナラバ、收入ノ點ヲ概算シテ、稅收入ノ増加ヲ算出スルコトガ出來マス、併シナガラ今回ノ如ク稅制ヲ根本的ニ改メテ、サウシテ此ノ新シイ稅制ノ下ニ

是ダケノ稅收入ノ増加ヲ算出スルコト算出ノ根據ハ、何レニ御據リニナツタノデアリマセウカ、此ノ增收額ノ算出ノ根據ヲ明ニシテ戴カスト、私ハ此ノ數字ヲ信シ兼ネルノデアリマス、又政府ノ御出シニナル稅增收ノ豫算ト云フモノハ、實際トハ何時デモ大キナ差ガアル、從來臨時利得稅ヲ創設セラレ時デモ、又昨年ノ遊興飲食稅ヲ創設セラレ時デモ、悉ク此ノ議會ヤ特別委員會言明セラレタ所ノ數字ト、後日ノ實績トガ會テ一回デモ合ツタコトガアリマスカ、恐ラクハ何時モ駭引ヲヤツテ、吾々國民代表ニ向ツテ眞ノ數字ヲ御示シニナツテ居リマセヌガ、ソレハ駭引デアアルノカ、當時ノ計畫ガ杜撰ナノカ、此ノ執レカニ屬スルノデアリマス、計數ヲ御出シニナル頭ガナカツタノカ、アツタノナラバ吾々ニ實際ノ計數ヲ御示ニナラスノハ、是ハ不都合デアリマス、其ノ何レデアアルカ、今回ノハ明瞭ニ其ノ數字ノ算出ノ根據ヲ示サレテ、ドウカ責任ノアル答辯ヲ願ヒタイ、一兩年後ニハ實績ガ現ハレテ來ルノデアリマスガ、私ハ今度ノ增收ハ其ノ數字トハ大變懸離レタ增收デア

ルト考ヘルノデアリマス、是ガ第一點ノ質問デアリマス

第二點ノ質問ハ、大キナ增收ヲ御ヤリニナル、サウスルト低物價政策ニ反スル點ハ、昨日來展、論ジラレマシタ、殊ニ物品稅ニ於テ私ハ此ノ低物價政策ノ、一般所得稅トカ營業收益稅、營業稅或ハ法人稅ト云フヤウナ色々ナ所得カラ生ズル税金ハ、別ト致シマシテモ、物品稅ノ增收ハ必ズ其ノ物品ヲソレ以上ニ値上ヲシテ賣ラスコトハ政府モ認メテ居ル、サウ云フコトニナリマス、私ハ一番疑ヲ持チマスノハ、此ノ百億圓以上ノ豫算ヲ遂行シテ行ク上ニ於テ、先ヅ今回ノ物品稅ノ値上リヲ見マスルノニ、大體五分乃至一割ノ增收ヲシテアリマス、サウスルト恐ラクハ一割程度ノ物價ノ上リ、政府ノ公認スル所ニ依ル値上リガソレニナルモノト見ナケレバナリマセヌ、サウスルト今、昨年ノ八月、九月頃ニ豫算ヲ編成セラレタ時ノ物價ハ、今日ヨリ勿論一割以上安カツタコトハ明カデアリマス、サウスルト茲ニ實行ニ當ツテ二割ノ食糧ヒハ少クモ出テ來ル、百億ノ豫算ヲ遂行シテ行カウト思ヘバ、此ノ値上リニ依ル二割ノ二十億ハドウ云フ風ニシテ政府ハ賄ツテ行クカ、ソレダケノ計畫ヲ縮メテ行クカ、又ハソレハ追加豫算カ何カ取ルノカ、ドウ云フ方法ニ依ツテヤルノカ、吾々ノ考ヘル所デハ、斯様ナ增收ヲヤツテ、一番消費ヲ多クヤル所ノ政府ガ、其ノ豫算ノ遂行ニ難澁ヲ來スヤウナ政策ヲ採ラズニ、增收ヲヤラズニ政府ノ豫算ノ遂行ヲシタ方ガ、却テ低物價政策ニモ副フシ、又實現モ其ノ方ガ易タルコトニナルノデハアリマス、此ノ點ハ私ハ十分ニ一ツ解イテ戴キマセヌト當ヲ得スト考ヘル、一番

大キナ消費者デアアル政府ガ値ヲ上ゲサセテ置イテ、サウシテ安カツタ時ノ豫算ヲ遂行シテ行カウト云フ所ニ大キナ無理ガアリマス、大藏大臣ハ此ノ無理ヲドウ云フ方法ニ依ツテ解消スル積リデ居ラレマスカ、此ノ點ヲ拜承致シタイノデアリマス

今一ツハ、ソレニ續イテ、昨日ノ御答辯ニ、大藏大臣ノ答辯デアツタと思ヒマスガ、生産ノ擴充ヲ邪魔シハセスカト云フ質問ニ對シテ、大藏大臣ハ、生産ノ擴充ニ多少ノ邪魔ガアツテモ已ムヲ得スト云フ答辯ヲサレテ居ルノデアリマス、サウスルト、政府ハ低物價政策ヲ行フ、低物價政策ハ、此ノ政府モ從來ノ政府ト同様ニ、此ノ主義ハ變ヘナイト云フコトヲ仰シヤツタノデアリマスガ、果シテ昨日ノ答辯ガ眞デアアルナラバ、低物價政策ノ主張、低物價政策ノ主義ハ破棄サレタノデアリマス、此ノ點ヲ明瞭ニシテ戴キタイと思ヒマス、尙ホ斯ウ云フ大キナ增收デアリマスカラ、我國ノ財政ヤ經濟ニ及ボス點ハ非常ナモノデアルト考ヘマスカラ、此ノ點モ大藏大臣ニ一ツ承ツテ置キタイと思フノデアリマス、大藏大臣ハ通貨ノ回收ヲ圖ル、即チ購買力ノ吸收ヲ爲スノニハ增收ヲ力説シ、サウシテ一面ニハ節約ノ緊縮ヲ力説シテ居ラレルノデアリマス、私ハ增收ガ必ズシモ購買力ノ吸收トハナラナイと思フ、節約勿論ノコトデア

リマス、サウシテ行クト、果シテ其貯金ヤ預金ガ購買力ヲ吸收シタ結果ニナルノデアリマセウカ、私ハアア云フ低物價政策ヲ執ルノニハ、斯ウ云フヤウナ通貨ノ回收ノ方法デ低物價政策ヲ行フコトハ、頗ル困難デアルト考ヘマス、現政府ハヤハリサウ云フ建前ヲ執ツテオヤリニナルカノ如ク、施政方針ノ御演說以來拜承シタノデアリマスガ、其ノ通りデアリマス、預金ヤ貯金ガ購買力ヲ起サスト云フ所ノ御話ヲ、一ツ明瞭ニ此ノ議會ヲ通ジテ國民ニ御知ラセ願ヒタイト存ズルノデアリマス

尙ホ大藏大臣ニ條文ニ入ツテ御尋スルコトガ澤山アリマスガ、質問ノ順序上私ハ商工大臣ニ一ツ此處デ問ニ挾ンデ聽イテ置キタイコトガアルノデアリマス、昨日來藤原商工大臣ノ增收ニ對スル御答辯ハ、增收ノ爲ニ生産ノ縮小ハシナイ、産業ノ萎縮スルヤウナコトハナイカラ安心シテ可ナリト云フヤウナ御答辯ガアツタノデアリマス、私ハ常ニアナタノ御意見ハ直接ニモ間接ニモ拜承致シテ居ルノデアリマス、增收ハ産業ノ萎縮ニナルト云フコトヲ屢々聞イテ居ルノデアリマスガ、野ニ在ル時ト朝ニ立ツ時トニ依ツテ、御主張ガ變ツテ來タノデアリマス、增收ヲヤルコトニ依ツテ資金ガ資本家、事業家ノ手カラ政府ニ吸收サレラゲケデハアリマセヌ、今日ノ增收ノ一番最高ノ率ハ分類所得稅、綜合所得稅ヲ合シテ見ルト百分ノ七十五デアリマス、百分ノ七十五ノ大キナ高率ノ稅ヲ事業家が拂フ、ソレモ本當ニ百圓ノ收入ニ對シテ七十五圓取ルノナラバ、マダ差引二十五圓殘ツテ來ルカモ分ラナイガ、恐ラク稅務署ノ査定ト云フモノハ、是ハ國民何人モ經驗ノアル所デア

リマスガ、稅務署ハ百圓ノ實益ニ對シテ必
ズソレノ何割カラ増シテ數字ヲ以テ、其ノ
人ノ所得ト決定シテ來ルコトハ御承知ノ通
リデアリマス、是ハ民間ノ經驗シテ居ル者
ナラバ皆知ツテ居ル、藤原サシノ如キハ營
利法人ノ經營者デアリカラ、アナタノ會社
ノ所得決定ニ際シテ恐ラクハ稅務署ガ否認
シテ來タ所ノ支出ハ澤山アルデアラウト思
フノデアリマス、是ハ營業費トハ認メナイ、
アレモ營業費トハ認メナイト言ツテ否認ス
ル所ノ支出ガ、澤山出來テ來ルノデアリマ
ス、個人デハサウ云フ否認支出ヲヤルト云
フヨリモ、眞向フカラ幾ノ賣上ラシテ居
ルカラ、何ボ所得率ヲ掛ケテ行クト、オ前
ノ收益ハ是ダケニナルト云フ風ニ、御査定
ニナルノデアリマスカラ、恐ラク百圓儲ケ
テ百圓出スヤウニナルノデハナイカ、否百
圓儲ケテ百圓以上出スヤウニナルノデハナ
イカ、サウナツテ來テモ、尙且ツ國民ガ眞
ニ産業ニ努力スルデアリマセウカ、私ハ最
近此ノ議場デ聽イテ居ルト、利潤ニ付
テ彼此レ議論ガアリマス、勿論今日ノ時
局デアリマスカラ、利潤ニ對スル程度ノ
問題ハ國民ハ十分ニ深ク考ヘテヤラナケ
レバナリマセヌガ、併シ掛ケテ資本ニ
利潤ノ回收ガ明ニナイト云フコトガ分ツテ
モ、産業ヲ盛ニヤルカドウカ、私ハ此ノ
點ニ付テ非常ナ憂慮ヲ致ス者デアリマス、
併シナガラ只今ノヤウナ生産擴充ニ事業家
ガ本氣デヤルカ、ヤラヌカ非常ニ危ブマレ
ルト同時ニ、アナタノ御答辯ヲ聽イテ居ルト
通貨ノ收縮ノ一端トナル購買力ヲ、政府ハ
吸收スルコトガ出來ルト云フヤウナ御演說
モ爲サツテ居ルカト思ヘバ、是ハ新聞紙ヲ
通ジタノデスカラ、果シテ事實カドウカト云
フコトハ、今日此ノ席上デ藤原商工大臣カ
ラ拜承致シタイト思フノデアリマスガ、石
炭ノ生産助成金ヲ應當リ五圓出スト云フヤ
ウナコトヲ新聞デ見タノデアリマス、果シ
テサウカドウカ、石炭ノ助成金ヲ應當リ五
圓出シテ行クトニ依ツテ、本當ニ石炭増
産ノ目的ノ遂行ガ出來ルカドウカ、其ノ目
的ヲ果サズニ、政府ガ折角色々ノ名目ヲ設
ケテ通貨ノ回收ヲ圖ツテモ、又一面通貨ノ
膨脹ヲ政府自ラ行フノデアリマセヌカ、
石炭ノ今日ノ實情ヲ申上ゲレバ、五圓ノ助
成金ヲ與ヘタカラトテ、私ハソレデ聞取引
ガ無クナリモセズ、又ソレガ爲ニ石炭ノ増
産ガ圖ラレルトハ考ヘラレマセヌ、今日石
炭ハ御承知ノ通りニ公定價格ヨリ五圓乃至
十圓ノ聞取引ガ行ハレテ居ルシ、尙ホ日本
ニ無クテハナラヌ粘結炭ノ如キモノハ、應
四十圓五十圓デ取引ガ行ハレテ居ル今日デ
ハアリマセヌカ、ソレニ五圓ノ助成金ヲヤ
ツタナラバ、聞取引ガ止マウトカ、生産ノ
擴充ガ出來ヨウトカ、如何ニモ當局ハ實社
會ニ暗過ギルト私ハ考ヘルノデアリマス、
而モ其ノ五圓ノ助成金ハ何ヲ目標ニヤルカ、
恐ラクハサウ云フコトヲヤルコトニ依ツテ、
石炭ノ質ヲ低下サスコトハ分リ切ツテ居リ
マス、凡ソ從來ノ石炭ハ一等炭、二等炭、
三等炭ト色々種類ガ分レテ居リマス、ソレ
ハ何デ分ケルカ、能ク議會ナドデハ「カロ
リー」デケテ論ゼラレマスガ、「カロリー」
デケデハアリマセヌ、灰分ト水分ト十分ニ
檢討ヲ加ヘテアル、灰分ガ百分ノ十以內、
附著水分ガ百分ノ三以內、「カロリー」ハ六
千八百「カロリー」以上、是ガ一等炭デス、
併シナガラ石炭ノ助成金ヲ應當リ五圓ヤル
ト云フコトニスルト、出テ來ル石炭ハ恐ラ
ク選炭ナドヲ行ハナイデ、所謂土塊ナドガ
混ツテ來ルノデヤアリマセヌカ、サウ云フ
助成ヲ行フ結果ハ、石炭ノ質ハ一層低下シ
テ行キマス、但シ斯ウ云フ答辯ナラ私ハ求
メマセヌヨ、ソレハ「カロリー」ヤ、品種ヲ
試驗シテ助成金ヲヤルカラ心配ナイト仰シ
ヤルナラバ、私ハ肯定致シマセヌ、何故ナ
ラバ此ノ多量ノ石炭ノ中、分析試驗ニ持ツ
テ行ク石炭ハ、水洗ヲシ選炭ヲ施シテ十分
ナ質ノモノヲ持ツテ行クデアリマセウ、併
シナガラ本當ノ取引ヲ行フ何百萬應、何千
萬應ノ石炭ニ一々サウ云フ検査ガ出來ルモ
ノデアリマセヌ、政府ハドウモ一面ニ於
テ購買力ノ吸收ヲヤルト言ツテ大キナ増稅
ヲ行ヒ、一面ニ於テハ此ノ助成金ヲ吳レテ
ヤツテ、通貨ノ膨脹ヲ圖リ、購買スル人ノ
懷ロカラ其ノ金ヲ五圓上ゲテヤツテ拂ハ
ス、十圓上ゲテヤツテ拂ハスノナラバ、或
ハ通貨ハ膨脹シマセヌデセウ、政府ガ助成
スルト云フ通貨ハ、税金カラ取上ゲルノニ
アラズシテ、何カ特別會計ニ依ルニセヨ、
普通會計ニ依ルニセヨ、是等ハ何レハ公債
ニ財源ヲ求メラレモノデアルト考ヘナケ
レバナラヌノデアリマス、公債ニ財源ヲ求
メテヤルコトハ即チ通貨ノ膨脹デアリマ
ス、一方ニ於テハ通貨ノ回收ヲ圖リ、極力
膨脹ヲ制止シ、一方ニハ政府自ラガ通貨ノ
膨脹ヲ圖ルヤウナ政策ヲ執ル、一體一貫セ
ル主義政策ト云フモノハ現內閣ニハナイノ
デアリカ、之ヲ一ツ明瞭ニシテ戴キタイト
思フノデアリマス(拍手)

ソレカラ統制經濟ノコトデ御伺シタイノ
デアリマスガ、後ニ廻シマシテ、內務大臣
ニ二點バカリ御尋スルコトガアリマス、內
務大臣ハ今池本サンカラ御述ニナリマシ
タ要綱ノ中デ御答辯ガアリマシタガ、私ニ
ハ十分會得出來マセヌカラ拜承シタイト思
フノデアリマス、今回ノ稅制ノ改革ニ依ツ
テ地方ノ稅源ハ悉ク中央ニ取上ゲラレタノ
デアリマス、殆ド獨立ノ稅源ト云フモノハ、
地方ニハ是デ無クナツタノデアリマス、然
ルニ從來ノ例ニ依ツテ見ルト云フト、國家ガ
色々ナ法律ヲ作ツテ地方ノ自治團體ニ強制
スル施設ハ、洵ニ數限リナク枚舉ニ遑ガナ
イ程澤山アルコトハ御承知ノ通りデアリマ
ス、ソコデ地方ハ從來ドウヤツテ居ルカト
云フト、國庫ノ助成若クハ補助ヲ貰ウテ足
ラザル所ハ悉ク起債ニ依ツテ居ツタノデア
リマス、國民ガ負擔スルコトハ國債デアラ
ウト、地方債デアラウト私ハ同ジダト思フ、
國債ト地方債トハ別々ノ人ガ負擔スルノデ
ハナイ、同ジ國民ガ負擔スルノデアリマ
ス、財源ヲ取上ゲタ以上ハ、國家ハ今後法
律ニ依ツテ地方ノ自治團體ニ強制スル必要
ナ經費ハ、悉ク國家ガ負擔スルコトハ、勿論
御覺悟ニナツテ居ルコトハ思ヒマスガ、
念ノ爲ニ拜承致シテ置キタイトデアリマス、
內務大臣ニ對スル今一點ハ、內務大臣ニ對
スルト云フヨリ、分與稅ノ分與方法ノコト
デアリマス、大體我黨ガ多年主張シテ居ツ
タ所ノ地租及ビ營業收益稅ガ形ヲ變ヘテ地
方ニ委譲ヲサレヤウニナツタコトハ、私
ハ洵ニ可ナリ、即チ結構デアルト考ヘマス、
併シ吾々ガ主張シテ居ツタノハ、地租ト營
業收益稅ハ、其ノ稅源ヲ地方ニ委譲シテ貫
ヒタイト主張シテ居ツタ、政府ガ之ヲ中央
ニ取上ゲテシマツテ、之ヲ又分ケテ吳レル
コトハ、必ズシモ地方ノ發展ヲ策スル所以
デハアリマセヌ、私ハ此ノ點ニ疑ヲ持ツテ
居ルコトガ多クアルノデアリマス、此ノ取

上ダタ地租及ビ營業稅——今度ハ營業收益稅ト言ハズニ營業稅デアリマス、斯ウ云フ二ツノ税金ヲ取上ゲテ、政府ハ其ノ分與ノ方法ハ近ク此ノ議會ニ法律ヲ出スト仰シヤルノデアリマスガ、法律ニハ一體ドウ云フ分與ノ方法ヲ御決メニナツテ居リマセウカ、若シ夫レ從來ノ法律ノ如ク分與ノ方法ヲ悉ク勅令ヤ省令ニ御譲リニナツタノデハ、一向法律甲斐ガナイト私ハ思フ、ソレガ又勅令ヤ省令ニ依ツテ、政府ノ官僚ノ手ニ於テ、其ノ實情ニ即セザル分與ノ方法ガ實現スル虞ガアリ、其ノ處アル結果ハ、地方ノ自治團體ノ當局ハ、中央ヤ地方官廳ニ又日參シナケレバナラヌヤウナ結果ニナルノデアリマス、此ノ分與方法ノ點ヲ明白ニ法律ヲ以テ規定ガアリタイト思フテ居ルノデアリマスガ、ドウ云フ風ナ内容ニナツテ居ルカ、アナタノ御手許デ分ツテ居ルノデアルカラ、之ヲ明瞭ニシテ戴キタイ、何故ナラバ斯ウ云フ風ニ考ヘナケレバナラス、今ノ政府ノ考ヘテ居ルノハ附加稅、或ハ今ノ稅ノ上ル所ニ必ズシモ分與ヲ多ク與ヘナイ、多ク上ル所ノモノヲ取ツテ、サウシテ少ク納メタ所ノ方ニモ之ヲ公平ニ分配シテヤラウト云フ趣旨デアルト、答辯ガ出來テ居ルノデアリマスガ、若シサウデアアルナラバ、サウ云フ多ク稅ノ上ル所ノ自治團體ハ、多クノ施設ヲシナケレバナラスノデアリマスマイカ、人口ニセヨ、上水道ニセヨ、下水ニセヨ、有ユル自治團體ノ費用ヲ以テ行フ施設ガ、ソレダケ多ク要ルノデアリマス、人口ガ多イカ、事業ガ多イカ、何カノ理由デ左様ナ稅源ヲ多ク持ツテ居ルノデアリマス、其ノ稅源ヲ中央ガ取上ゲテ、此ノ施設ダケハ其ノ地方ハ依然トシテヤラナケレバナラ

ス、併シ分與シテ貰フ金ハ、自分ノ所カラ納メタモノヨリモ、貧弱町村ニ廻ツテ行クダケ、ソレダケ少ク茲ニ分與サレルノデアリマス、其ノ地方ハ非常ニ困ツテ來ルヤウナ結果ニナルト私ハ考ヘル、共存共榮デアルトカ、或ハ又サウ言ハズニ、今日政府ノ此ノ稅ノ立法ヲ私ハ見テ居ルガ、兎角漸進的ノ共產主義ニカブレテ居リハセヌカト云フ處ヲ十分ニ持ツテ居ル、有ル所カラ取上ゲテ無イ所ニヤル、有ル所ハ殘リノ事業ヲ行フ爲ニハ又起債ヲスルノデアリマスカ、ドウ云フ方法ヲ執ルカ、而モ國ノ産業ヲ發達サス爲ニハ、工場ノ誘致トカ、事業ノ誘致ハ、努メテ地方ノ自治團體デハ運動マデシテヤツテ居ルノデアリマス、サウヤツテ行ク結果ガ、地方モ良クナリ、國モ良クナルモノデアルト考ヘテ居ルノデアリマスガ、若シ政府ガ今度ヤラウト云フ方法ニ依ルト、折角左様ナ事業ヲ地元ニ誘致シテ、盛ニシテ稅源ヲ作ツテ見タ所デ、ソレハ悉ク中央ニ取上ゲラレテ、中央ガ分與シテ呉レル時ニハ、納メタ稅額ヨリモ少ク分與スルト云フ風ニナルト、事業ノ誘致ナドハ努メテ今後避ケナケレバナラスセウナ狀態ニナル虞ガアルノデアリマス、斯ウ云フ點ニ關シテハ內務大臣ハドウ御考ニナリマセウカ、一ツアナタノ御考ニナツテ居ル所ヲ極ク率直ニ承リタイト思フノデアリマス

後戻リヲシテ條文ニ入ツテ大藏大臣ニ要所要所ヲ、一ツ御尋ヲシテ見タイト思ヒマス、營利法人トカ特別營利法人ナドニ向ツテハ別デアリマスガ、個人ニ向ツテ今同所得稅ヲ二重ニ課セラレル理由如何ト云フコトデアリマス、分類所得稅ト云フモノデ一應取ツテ置キ、又二重ニ綜合所得稅ト云フモノヲ御取リニナルノハドウ云フ建前カラデアルカ、又私ノ見ル所デハ從來ハ事業家ハ營業收益稅ト、第三種ノ所得稅ヲ納メテ居レバ宜カッタノガ、今度ハ營業稅ト分類所得稅、綜合所得稅ト、一ツノ所得ニ對シテ直接三ツノ稅ヲ設ケラレタノデアリマス、唯ソレハ營利法人ニダケハサウナツテ居リマセヌ、個人ニダケ二重ノ所得稅ヲ課セナケレバ平衡ガ期セラレスト云フ所ヲ、私ハ聽ケバ宜シイノデアリマス、個人ニダケハ一ツノ所得ニ對シテ、二重、三重ノ所得稅ヲ課セナケレバ——少クトモ營利法人ヨリ一段階多クノ所得稅ヲ課セナケレバ、公正ガ期セラレスト云フ理由ヲ私ハ拜承致シタイノデアリマス

次ハ昨日モ論ゼラレタノデアリマスガ、大藏大臣ノ御答辯デハ、私ハドウモ腑ニ落チナカッタ點ガアル、即チ所得稅法ノ第三十條ニ元本ヲ得ルニ要スル負債ノ利子ハ控除スル、其ノ具體的ノ答辯ニハ、株券ヲ擔保ニ入レテ借リタ負債ノ利子ハ控除スルト云フヤウナ意味ノ御答辯ガアツタノデアリマスガ、私ハ此ノ點ガ肯定ヲ致シ兼ねルノデアリマス、株券ヲ買フ爲ニ借リタ負債ノ利子デアアルカドウカト云フコトハ、何ヲ以テ當局ハ御見別ケニナルノデアリマス、株券ヲ擔保ニ入レズニ借リタ負債ハト仰シヤルガ、株券ヲ擔保ニ入レタ金ハ必ズ又株券ヲ買フデアリマセウカ、株券ヲ擔保ニ入レタ金コソ土地トカ建物トカ、船舶、山林、有ユル方面ニ使途ハアルデハアリマセヌカ、而モ株券ヲ擔保ニ入レテ借リタ金ハト仰シヤツテモ、アナタモ實業界ノ御出身デアリマセウカラ、能ク御承知ダト思ヒマス

ガ、株券ヲ擔保ニ入レテ借リタモノハ、其ノ株券ノ代金ヲ拂ツテ名義ノ書換ヲ行フ、委任狀ヲ添付シテヤラナケレバ銀行ハ金ヲ貸シテ呉レマセヌ、前貸ヲサシテ呉レヌコトハ御承知ノ通りデアリマス、其ノ株券ヲ擔保ニ入レテ借リタ金ノ利子デト云フヤウナコトハ、到底行ヒ得ラレヌコトデアルト私ハ考ヘル、株券ヲ擔保ニ入レテ金ヲ借りテ買ツタ代金デアルト、ドウシテ肯定ガ出來マス、ドンナ偉イ人ガ出デ來デモ、株券ヲ擔保ニ入レテ銀行カラ先借リシテ株券ヲ買ウテ來ルト云フコトノ出來ナイコトハ、是ハ今日ノ實情デアリマス、否ズツト前カラ其ノ仕來リデアアル、若シ株券ヲ擔保ニ入レテ借リタ金デ他ノ株券ヲ買フナリ、他ノ株券ノ増加ヲ圖ルカ、或ハ他ノ不動産ニ之ヲ投資スルカ、若シ假ニ他ノ不動産ニ投資シタリ、或ハ他ノ不動産ニ其ノ金ヲ投ジタ時ニハ、其ノ關係ノナイ負債ノ利子ヲ、然ラバ控除シテヤルコトニナルノデアリマス、私ハ從來二割ノ輕減ヲヤツテ居ツタ時ノ方ガ、是ヨリハ餘程宜イト思ヒマシタ、一層引クノナラバ、此ノ前年來屢、論ゼラレテ居ルヤウニ、負債ノ利子ハ株券ヲ買フ爲デアラウガ、然ラザルモノデアラウト、ソレハ悉ク負債ノ利子ヲ所得稅ヲ決定スルニ當ツテハ、差引イテヤルノガ當然デアリマス、サウスルコトニ依ツテ產業界ニ多少ナリトモ私ハ爲ニナルコトデアルト考ヘル、今日ノヤウニ此ノ高率ナル稅ヲ今度課ケテ行クノデアリマスガ、時節柄、時局柄已ムヲ得ナイコトデアアルカモ知レヌガ、此ノ高率ナル稅ヲ納メテ行ク上ニ、只今ノ銀行カラ金ヲ借りテ株券ヲ得ル、或ハ株券ヲ得ズニ、御承知ノヤウニ會社デモ必ズシモ株式會社ニ決

ツテ居リマセス、産業ヲ行フ會社ニハ株券ノナイ合名會社、合資會社、或ハ有限會社等、澤山會社ノ種類ガアツテ、株券ノ出來ヌ事業モアル、サウ云フヤウナ事業ニ投資シテ行ク人ノ負債ノ利子ハ、全部引イテヤラナイ時ニハ、恐ラク税金ト銀行ニ持ツテ行ク利子トデハ、大キナ不足ヲ來シマセウ、殊ニアナタノ所デハ配當制限令ヲ御出シニナツテ、年一割以上ノ配當ハ如何ナル場合デモ御許シニナツテ居リマセス、サウスルト年一割ヲ貰フニハ、投資ノ額面ニ對シテデアリマスカラ、拂込額面ヘノ一割デヤナイ、株券ハ五十圓ノ株ヲ六十圓デ買フカ、百圓デ買フカ、ソレハ時ノ相場デ得ルノデアリマスカ、其ノ買ウタ代金ノ金利ヲ銀行ニ拂ヒ——一面ニハ銀行ヘ利子ヲ拂ヒ、稅ヲ拂ツテ差引何ガ殘ルト御勘定ニナルノデアリマセウカ、私ハ是ハヤハリ今日此ノ場合我國ノ産業、統後ノ産業ハ出來ル限リ——擴充ハ出來ヌデモ維持シテ行カケレバナラスト考ヘルノデアリマスカ、今日生産擴充トカ、産業ノ發達發展トカ云フヤウナコトハ、望ンデ得ラレヌ社會ノ實情デアアルカラ、現在ノ産業ヲ維持シテ行ク爲ニモ、此ノ點ハ深キ考慮ヲ要スルト思フガ、大藏大臣ハ昨日ノヤウナ答辯デナク、實際ノ社會ニ於ケル狀態ヲ基トシテ、御答辯アラシコトヲ希望致シマス

次ニ是ハ極ク簡單デアリマスカ、是ハ屢、從來ノ増稅ノ委員會デ論ゼラレタガ、所得稅ノ調査委員會ノ機能ノコトデアリマス、現在ノヤウナ諮問機關デアラナラバ、有ルハ無キニ優ル、即チ無用デアアル、手間暇潰スダケノコトデアツテ、結局ハ稅務署ノ思ヒガ儘ノ税金ヲ課シテ行

クノデアルカラ、何ノ效果モナイ、決議機關トシテ此ノ所得調査委員ト云フモノノ權能ヲ、十分ニ認メテヤル調査委員會デナケラネバ效果ガナイ、隨ツテ機會ガアレバサウ云フ方法ニ改メラレタイト云フ希望ノ議論ガアツタコトハ、今ノ大藏大臣モ御承知デアラウト思ヒマスガ、書記官長ノ石渡サシナドハ能ク御承知ノ答デアリマスカ、ソレガ今回ヤハリ實現致シテ居リマセス、是ハドウ云フ譯デアアルカ

次ハ昨日モ論ゼラレテ居ツタヤウニ私ハ聞イテ居リマシタガ、是亦大藏大臣ノ答辯ハ私ハ肯定致シ兼ネルノデアリマスカ、相續稅ノ問題デアルガ、今回ハ最高ノ千分ノ五百五十ニナツテ居ルノデアリマスカ、此ノ千分ノ五百五十ノ徵稅ヲサレバ、恐ラク其ノ人ハ一錢一厘モ後ニ殘ル財産モナイ、即チ遺產相續、家督相續、是等ハ御承知ノ通りニ稅務署ガ其ノ人ノ持ツテ居ル土地、建物、株券、有ユル動産、不動産ヲ稅務署ガ勝手ニ評價スル、評價委員會ガアルノデモ何デモアリマセス、勝手ニ評價シテ、オ前ノ財産ハ是ダケニナルト云ツテ、ソレニ對シテ此ノ稅率ヲ課ケテ行クノデアアルガ、斯様ナコトヲシテ行ク場合ニハ、恐ラク百圓ノ財産カラ五十五圓ノ税金ヲ納メルノダカラ、マダ四十五圓殘ルト云フ勘定ガ出デ來マセウ、私ハ恐ラク是ハ全財産ヲ賣拂ウテモ、此ノ稅額ヲ得ルコトハ困難デアルト考ヘマス、今日マデデモ屢、ソレハ實現シテ居リマス、主稅局ノ方々ハ知ツテ居ラナケレバナラス、此ノ相續稅ヲ拂フ爲ニ破産ヲシテ困ツテ居ル人が澤山アル、ヨウ納メナイ人ノアルコトモ御承知デアリマセウ、斯ウ云フ風デアアルカラ、殊ニ我國ハ日本主義デ、

即チ我が國ノ家族制度ノ美ヲ益、發揮シテ行カウト云フヤウナコトヲ朝野ノ人々ガ言ツテ居ル時ニ、獨リ稅務當局ダケハ、二代三代ト續カセナイヤウニシテ行クコトガ、國家ノ爲デアリ、家族制度ノ爲デアルト御考ニナツタノデアリマスカ、殊ニ私ハ斯ウ云フコトヲ許セバ、稅務署ノ適當評價ガ多少デモ寬ニナルト思フノハ、英吉利ナドガヤツテ居ルヤウニ物納ノ制度ヲ認メル、評價シテ價格ガ、若シ本當ノ市場ノ實價ヨリモ高イ場合ハ、納稅者ハ其ノ物ヲ以テ稅ヲ納メル、サウスルト政府當局ノ人ハ斯ウ云フコトヲ言フ、英吉利ニ於テハ物納ヲ認メテ居ルガ、サウ物納ハナイ、何故ナイナラバ物納ガ來テハ困ルカラ、成ベク實際ノ價格ト同等ニ、或ハソレ以下ニ評價シテ行クカラ、物納ヲ申出デル者ガナイ、日本ニ於テモ物納ノ制度ヲ認メタナラバ、今日ノ適當ノ評價ハ改マルコトデアラウト考ヘラレルノデアリマスカ、然ルニ何回稅制ノ改革ヲヤツテモ、幾回はガ論ゼラレテ居ツテモ、相變ラズ此ノ物納ヲ認メナイヤウナ稅制ガ又出デ來タ、ソレハ如何ナル譯カ、ヤハリ適當ノ評價ヲヤリタイ爲デアルト云フヨリ外ニハ、私ハ考ヘヤウガナイ、若シ適當ノ評價ヲセスト云フナラバ、物納ヲ認メタカラトテ、政府ハ困ルコトハナイデハアリマセヌカ(拍手)此ノ點ハドウ御考ニナルカ、承リタイノデアリマスカ

尙ホ最近ノ社會問題ノ一番大キナ問題ハ、住宅ノ拂込デアリマスカ、此ノ住宅ノ拂込時ニ建築稅ト云フ新タナ稅法ヲ設ケタ、一ツノ獨立稅法ヲ設ケテ、此ノ小サナ一万圓カラノ建築ニ對シテ課稅ヲシヨウト云フ問題デアリマスカ、一體今日ノ一万圓

ハ大體建築材料、及ビ勞銀ノ上ツテ居ルコトカラ考ヘテ見マス、事變前ノ三千圓ノ程度ノ家ニ相當致シマセウ、其ノ程度ノ家ニ此ノ高率ナ建築稅ヲ課ケテ行ク、私ハサウマデセヌデモ、一體家賃ハ事變前ノ所デ、釘付ニシテ置イテ、サウシテ家主ノ負擔トナルベキ所ノ所得稅、家屋稅、受益者負擔稅ト、隨分事變以來増稅ニ増稅ヲ重ネラレテ、家主ノ負擔ハ相當ヒドクナツテ居リマスカ、ヒドクナツテ居ル證據ニハ更ニ此ノ住宅ノ建築スル、所謂貸家ヲ建築スル人ガナイデハアリマセヌカ、貸家ヲ建築スル者ガ居ナイカラ、今日ドン／＼人口ノ増加シテ居ル都市デハ住宅難ヲ來シテ居ルコトハ、御承知ノ通りデアリマスカ、政府デモ眞先ニ立ツテ、十分ニ是ガ新築ヲシテ、此ノ住宅ノ緩和ヲ御圖リニナルナラバ、洵ニ結構デアルト思フガ、ソレモ爲サラズ、サリトテ家主ニ持ツテ行ツテ、建築ヲサスヤウナ方法ヲモ御採リニナラスノミナラズ、今度ノヤウナ、是等ノ小サナ家屋ニ對シテ重稅ヲ課シテ、建築ヲ困難ナラシメヨウト云フコトガ、住宅ヲ一層困難ニ陷レルコトデアリマスカ、私ハ起案者ガ此ノ點ノ緩和ヲ御考ニナツテ居ルノデアアルカ、甚ダ失禮ナコトヲ言フヤウデアリマスカ、税金ハ上ツテ家主ノ負擔ハ多クナツテモ、吾等ハ月給取ガカラ家賃ガ上リサヘシナケレバ宜イト云フ御考カラ此ノ案ヲ起シテ居ルカラ、左様ニナツテ居ルノダト思フ(拍手)ソレヨリ外ニ考ヘヤウガナイ、家主ノ修繕費ノ如キハ、事變前ノ三倍四倍ニナツテ居ル、是等ガ上ツテ居ツテモ家賃ヲ上ゲテハナラス、釘付デアアル、ソレデハ家主ノ立チヤウ答ガナイ、家賃ガ多少上ツテモ住宅ノ緩和ガ出來タ方ガ、全

體ノ國民ノ利益デハナイカト云フ所ニ、御考ガ及バスノデアリマセウカ(拍手)

ソレカラ此ノ次ハ支那事變ノ特別税及ビ臨時利得税ハ、御承知ノ通り臨時税デアル、支那事變ガ濟ンデ一年シタナラバ斯ウ云フモノハ廢止シヨウト云フ税ノ主義デアル、ソレガ今度ハ悉ク恒久税ニ變ツタ、今度ノ税法ニ依ルト此ノ臨時税法ガ悉ク恒久税ニ何等ノ説明モ加ヘズシテ變ツテ居ルガ、洵ニ不親切ナリ方デアルト思フ、支那事變ガ濟ンダ此ノ税ハ取止メルト云フ、其ノ支那事變ノ濟ム所ハ何處デ線ヲ引クカ、即チ支那事變ガ濟ンダト云フコトハ大體明確ニナルカラ、ソコノ線カラ一年後ニ此ノ税ヲ廢止シヨウト云フコトノ税デアル、此ノ税ガ今度ハ恒久税ニイツノ間ニカ變ツテシマツタ、是ハドウ云フ譯ダ、今一ツ杜撰ナ——杜撰ナト言フト甚ダ失禮デアリマスガ、私カラ見レバ此ノ税法ノ中ノ杜撰ナ所ヲ申上ゲル、其ノ積リデ御聽ヲ願ヒタイ、酒税法ノ第五十條ニ何ト書イテアルカト云フト、酒ニ持ツテ行ツテ、水以外ノ物ノ混入ハ政府ノ許可ヲ要ス、水ダケハ幾ラ混入シテモ宜イト書イテアル(拍手)今日ノ酒ハ、是ハ大藏當局ニ一人モ酒吞ガ居ラスト云フ譯デハアリマス、酒ニ水ガ混ツテ居ルト云フヨリ、水ニ酒ガ混ツテ居ル、今日ノ酒ハ決シテ從前ノヤウニ酒ニ水ヲ割ルニアラスシテ、水ハ酒ヲ割ツテ居ル、是ハ御承知ノ通りデアル、此ノ元モ子モ要ラナイ、所謂税金モ課ラス、米モ要ラス此ノ水ニ持ツテ行ツテ、斯ル多額ナ金ヲ國民ニ消費サスコトハ、ヤハリ購買力ノ吸收デヤト仰ツシヤルノデアリマセウカ、ドウ云フ譯デスウ云フ水ニ大變ナ金ヲ拂ハスヤウナコトヲス

ルノカ、私ハ進ンデ「アルコール」ノ精分ナドハ此ノ際取締ツテ、何「バーセント」以上ノモノヲ以テ日本酒類ダト云フヤウナ明瞭ナコトヲ、ヤツテ欲シイト思ヒマスガ、水ハ幾ラ混ゼテモ宜イト云フヤウナコトヲ、獎勵ノヤウナ酒税法ノ第五十條ヲ、私ハ甚ダ遺憾ニ考ヘテ居ル、斯ウ云フヤウナ法律ハ私ハ贊意ヲ表シ兼ね、而モ低物價政策ヲ主張シテ居ル政府ガ、水ニ持ツテ行ツテ一升三圓四圓ノ金ヲ拂ハスヤウナ計畫ヲ御立デニナルト云フコトガ間違ツテ居ル(拍手)

モウ一ツ杜撰ナ所ヲ御尋申上ゲタイ、狩獵税ノ中ニ一等二等三等ノ鑑札ノ區別ガシテアル、成程從來モ其ノ通りデアル、併シナガラ今度出來ヌコトガ一ツ私ハアルト思フ、一等ハ綜合所得税ヲ納メル人ニ鑑札ヲヤル、二等ハ分類所得税ヲ納メル人、三等ハ所得税ヲ一切納メナイ者ニ三等ノ鑑札ヲヤル、標準ハ之ヲ否ムモノデハナイ、標準ハ宜シイガ、一體分類所得税ノ納税者ハ誰ガ決定スルカ、分類所得税ハ御承知ノ通り殆ド其ノ大部分ハ源泉課税デアリマス、源泉課税デアアル限り、市町村役場ハ之ヲ知ルコトガ出來マセヌ、然ルニ鐵砲ノ鑑札ヲ受ケル時ハ、市町村役場ノ納税證明ヤ其ノ他ノ證明ヲ得テ、警察デ取ルデハアリマセヌカ、分類所得税ノ納税者デアアルヤ否ヤハ、ドウ云フヤウナ所デ決メテオヤリニナルノカ、茲ニ如何ナル名人が出テ來テモ、分類所得税ヲ證明スル市町村ハ、今ノ法律ノ建前デハ出來ナイ、支拂人が違フ、源泉所得税デアリマスカラ、ソレハ支拂人が違ツテ居ルカラ、出來ヨウ筈ハナイ、此處マデハ大藏大臣モ御讀ミニナツテ居リマス、前

ノ方ダケダラウト思フガ、此ノ邊モ肝腎ナ所デス(拍手)

農林大臣ニ一ツ御尋申上ゲタイノデアリマスガ居ラレナイ、ドウウ農林大臣ニハ、ドナタカ農林省ノ才役人が出テ居ラレマセウカラ、書取ツテ置イテ、此處ニ出席シテ答辯シテ貰ヒタイト思ヒマス、今回ノ課税ニ於テ特別法人、即チ産業組合ニ課税スルヤウニナツテ居リマス、私ハ此ノ産業組合ニ課税ヲスルト云フノガ、ドウ程度ノ産業組合ニ課税ヲスルノカ、所謂全部ノ産業組合、商業組合、工業組合、縣聯合會、國ノ聯合會ト云フ方面全部ニ課税ヲスルヤウニナツテ居ルコトニ對シテ、農林大臣ハ同意ヲ與ヘラレタノカ、與ヘラレタレバコソ提案シテ居ルト言ハレデアリマセウ、サウスルト私ノ聽キタイノハ、私ハ斯ウ考ヘテ居ル、實情ヲ多少知ツテ居リマスカラ、産業組合ノ、所謂國ノ聯合會、即チ全產聯デアアルトカ、全聯聯デアアルトカ、或ハ縣聯合會デアルトカ云フヤウナ所ガ、有價證券ノ保有トカ、色々々事業ヲ行ツテ、商工業者以上ノ事業ヲ行ツテ居ルカラ、可ナリナ收益モ舉ツテ居リマセウガ、地方ノ町村ニアアル産業組合ノ單一組合ニ對シテ、今日果シテ税ヲ課ケラレラダケノ餘裕ガアリト農林大臣ハ御考ニナツタデアリマセウカ、私ハ地方ノ農村ナドノ産業組合ハ、決シテアノ數字ニ現ハレテ居ルヤウナ利益ハ舉ラヌト思フ、利益ガ舉ツテ居ラヌニ何故ソレナラバ考課狀ニ、決算報告ニ利益ガ舉ツタヤウニ書イテ居ルカ、ソレハ本當ノ産業組合ノ内容ヲ、ソレモ檢討致シマシタナラバ、相當貸倒レモアリマス、或ハ其ノ他ニ手持商品ナドノ下リモ喰ツテ居リマス、併シナガラ

本當ノ決算ヲ現ハスト、預金ト云フモノヲ吸收スルノニ大キナ關係ガアルノデアリマス、此處ガ「デリケート」ナ所デアル、ガツチリシク決算ヲヤツテ整理シタイガ、整理ヲシタナラバ損失ヲ計上シナケバレナラス、損失ヲ計上スルナラバ預金ノ取付ニ遭フ虞ガアルシ、預金ガ今後取レヌ虞モアル、斯ウ云フ幾多ノ惱ミヲ持ツテ居ルノデアリマスカラ、此ノ産業組合ノ、少クトモ地方ノ一番一線ニアル産業組合ニ對シテノ課税ハ、餘程ノ考慮ヲ要スルト私ハ考ヘル、併シナガラ農林大臣ハ御同意ニナツテ居ルノデアリマスカラ、此ノ點ハドウ御研究ニナツテ、課税シテモ宜イ、漸ク今産業組合ト云フモノハ成長ノ域ニ達シ、青年期ニ達シタモノデアリマス、ソレニ直グ此ノ重壓ナル税ヲ課シテ、此ノ發達、發展ヲ阻止スルコトガ、地方發展ノ爲ニ適正ナルコトデアラウカドウデアラウカ、非常ナル考慮ヲ要スル問題デアラウト考ヘルノデアリマス(拍手)

最後ニ總理大臣ニ一ツ御尋申上ゲタイト思ヒマス、私ハ米内閣總理大臣ハ軍人ノ御出身デアリ、サウシテ皆國民モ非常ナ信頼ヲ與ヘテ居ルノデアリマスカラ、強イ政治ヲオヤリニナツテ、頼リアル政治ヲオヤリニナツテ、國民ガ安心シテ居ラレルヤウナ政治ヲ行ツテ貰ヒタイ、サウシテ此ノ内閣ハ出來ル限リ長ク續イテ貰ヒタイト云フ希望ニ變リハアリマセヌ、ソコデ私ハアナタニ御尋シタイノハ、現在非常ニ惡性「インフレ」ヲ恐レテ居リマス、國民全體皆恐レテ居ル、併シナガ政府自ラモ「インフレ」ヲ恐レルト言ヒナガラ、只今ノヤウニ色々ナ名目ヲ設ケテ、公債ヲ發行シテ通貨ノ膨脹ヲ圖ツテ居ラレル、私ハ此ノ場合斯ウ云

フ考ハナイカ、ソレハアナタノ常識デ御返答ヲ願ヘバ宜イノデアリマス、現在ノ公債政策ハ從來ノ不景氣ノ時ニヤツテ居ツタ公債政策デアリマス、從來不景氣救済ノ爲ニ交付式公債ヲ發行シテ居ツタ、政府ガ印刷シタ公債ヲ日本銀行ニ交付シ、日本銀行ハソレニ依ツテ札ヲ政府ニ納メテ、政府ガ支拂勘定ニソレヲ廻シテ居ツタ、デアルカラ通貨ハ非常ニ膨脹シテ居ル、通貨ヲ膨脹サスコトハ景氣ノ回復ノ爲ニハ宜イノデス、景氣ノ回復ノ爲ナラ其ノ方法ガ一番宜シイガ、ソレハ不景氣ノ時代ニ高橋大藏大臣ガ行ハレタコトデアリマス、今日ハ通貨ガ膨脹シテ、通貨ノ吸收ヲ急ガネバナラス時デアリマスカラ、斯ウ云フ時ニハ郵便局ノ窓口、銀行ノ窓口デ公債ヲ賣出スナリ、或ハ強制保有ヲサスナリ、有エル手段方法ヲ講ジテ公債ト紙幣トヲ取換ヘテ、紙幣ヲ吸收スルヤウニシタラドウカト思ヒマス、日清日露ノ戰爭時代ニヤツテ居ツタヤウナ公債ノ發行方法ヲヤレバ、現在ノ如キ通貨ノ膨脹ハ起リマセス(拍手)又現在ノ如キ日本銀行ニ保有ノ公債ハ殖エマセス、此ノ點ハ技術的ノ答辯ヨリモ、ソレガ宜イト思ハレルカドウカ、此ノ點ガ一點ト、次ハ通貨ノ膨脹ノ一番大キナ原因ハ茲ニアル、政府ノ方カラ放送スル金ヨリ物ノ方ガ大切デアルト云フ宣傳ガ非常ニ強く發セラレル爲ニ、國民ハヤハリ、ソコハ財産ニ執著ガアルカラ出來得ル限り物ヲ持ツ、物ヲ買フ、ソレガ不動産ヤ株券ヘノ投資ナラマダ宜シイガ、衣類デアラウト、食料品デアラウト何デモ宜イ、手當リ次第ニ預金ヲ引張り出シテ來テ、物ヲ買ウテ貯藏スル慣習ガ出來テ來テ居ル、ナゼ然ラバサウ云フ風ナコトヲ政府

ハ進ンデ宣傳シタカ、是ハ昨日來問題ニナツテ居ル企畫院ト云フモノガ惡イ、企畫院ガ、兎ニ角日本ニハ紙幣ハ幾ラデモアルカラ、ソレハ心配ガナイガ、物ガ無い、金ヨリモノガ大事ダト云フ宣傳ヲオヤリニナルモノデアリマスカラ、國民ハソレニ對シテ、サウカ、政府ノ一番偉イ所デサウ云フ風ニ言フナラバ、物ハ無いノダ、物ガ無いナラト云フノデ、預金ナドハ引張り出シテ物ニ換ヘテシマツテ居ル、然ラバ企畫院ガアツテ物動計畫ガ完全ニ出來テ、何等違算ヲ生ゼヌナラバ是モアツテモ宜シイカモ知レヌ、先ヅ詳シイコトヲ言ハヌデモ御承知ノ通りダ、企畫院ガ發表シタ數字ガ合ツタコトガナイ、机上「プラン」ガ實際ト合ツタコトガ一回モアリマセス、サウシテ見ルト企畫院ト云フモノハ無い方ガ國家ノ爲デアル(拍手)アルガ爲ニ物ト金トノ問題ニ大キナ累ヲ及ボス、企畫院ガナカツタナラバ恐ラク金ヨリ物ガ大事ダト云フヤウナ宣傳ヲセヌカラ、今日國民ガ實情、買溜ナドハ致シマセヌ、國民ガ之ヲ勝手ニヤツタナラバ、財界攪亂ヲスルト言ツテ引縛ルカモ知レマセヌケレドモ、是ハ政府自ラガヤツタノダカラ、ドウモ縛ツテ行ク譯ニモ行カヌ、斯ウ云フ風ナコトニ考フ及ボシテ見タナラバ、今日ノ時局デ企畫院ヲ作ツテカラ以來ト云フモノハ、會社デモ、他ノ省デモ、地方廳デモ、皆之ヲ看做ツテ、企畫課トカ、企畫局トカ云フモノヲ設ケテ、人ヲ澤山殖シテ、實際ハサノミ實行ノ出來ナイモノヲ拵ヘテ、ソレヲ國民ニ強ヒタ、斯ウ云フ眞似ヲヤツタ、是ガ又國家ノ爲ニ有害ナコトト私ハ考ヘル、此ノ際總理大臣ハ思切ツタ政策ヲ遂行セラレナケレバ、本當ニ而モ力強い

政治ヲ行フ頼リアル總理大臣ダト國民ニ信賴サス爲ニハ、斯ウ云フ屋上屋ヲ架シテ居ル有害無益ナ官廳ヲ、第一著ニ廢止セラレル考ガアルカ、以上御尋申上ゲマシテ、私ノ質問ヲ終リマス(拍手)
(國務大臣櫻內幸雄君登壇)
○國務大臣(櫻內幸雄君) 森田君ノ御質問ニ對シテ御答致シマス
第一ハ負擔ノ均衡ニ付テ力ヲ盡シタト云フガ、事實ハサウデハナイデハナイカ、即チ五千圓以下ニ對シテハ一定ノ比例稅率デヤツテ居ルノデアツテ、要スルニ極ク少額ノ人々ニ對シテハ比較的負擔ガ重イ、其ノ點ハドウ云フ考ヲ持ツヤツタノカ、斯ウ云フ御尋デアリマスガ、今回ノ稅ニ於テ、勤勞所得ニハ御承知ノ如ク六百圓ト云フ控除額ヲ決メテ居リマス、又事業所得ニハ四百圓ト云フ控除額ヲ決メテ居リマス、隨ヒマシテ千圓ノ人ハ四百圓ダケニ對シテ稅ヲ負擔スルノデアリマス、ソレガ二千圓ニナリマスレバ千四百圓ニナルノデアリマス、三千圓ニナリマスレバ二千四百圓ニナルノデアリマシテ、其ノ負擔割合ハ凡ソ累進率的ニナルノデアリマス、殊ニ少額ノ所得者ニ對シマシテハ、家族控除ヲ行ツテ參ツテ居ルノデアリマシテ、幾分ヅツ累進的ナ狀況ニナリマス同時ニ、少額所得者ニ對シマシテ負擔ノ輕減ヲ圖ツテ居ルノデアリマス
ソレカラ簡易化ノ問題ニ對シテ、現在アル所ノ稅法ヨリモ更ニ稅ガ増加致シテ居ルノデハナイカ、即チ簡易化ニアラズシテ、反對ノ傾向ヲ取ツテ居ルノデハナイカト云フ御質疑デアリマスガ、從來ノ稅ノ建前ハ繼ギハギノ稅デアリマシテ、中々簡單ニ解

釋ガ出來ナイノデアリマスケレドモ、此ノ度ノ稅法ノ改正ハ、申スマデモナク一定ノ方針ノ下ニ定メタノデアリマシテ、隨テ此ノ稅ガ實行サレマス、國民全體ニ會得ヲシテ戴クコトガ易シイノデアリマス、同時ニ現在ハ單行稅法ノ外ニ、臨時租稅増徴法デアルトカ、支那事變特別稅法デアルトカ、二段三段ノ構ヘト相成ツテ居マシテ、極メテ複雑難解ノモノトナツテ居ルノデアリマスガ、此ノ際ニ是等ノ臨時的法規ヲ整理統合シマシテ、ソレノ各稅ニ付テ單一ノ稅法ヲ制定スルコトヲ致シタノデアリマス、稅法ノ數ノ如何ハ別問題ト致シマシテ、相當ノ分リ易キモノト相成ツテ居ルモノト認メルノデアリマス、又其ノ他法人超過所得稅ト臨時利得稅トヲ統合致ストカ、或ハ第一種所得稅ト法人資本稅トヲ統合ヲ致ストカ、或ハ酒類ニ對シマシテモ各稅法ノ統合ヲ致シマシテ、稅制ノ一定ノ基準ニ從ツテ稅ヲ課ケルコトト相成ツテ居リマス、私ハ稅法ノ上カラ言ヘバ、簡易化シタト云フコトガ出來ルダラウト思ヒマス
此ノ大増稅案ヲ出スノニ、新任勿々之ニ對スル所ノ檢討ガ不十分デハナイカト云フ御話デアリマスガ、平素カラ此ノ稅ノ問題ニ對シマシテハ、多少研鑽ヲ致シテ居リマスト同時ニ、今回ノ此ノ増稅案ハ、御承知ノ如ク有エル方面ノ權威者ヲ網羅シタル所ノ稅制調査會ニ於テ、實ニ二十八回ノ多キニ互ツテ檢討致シタ結果ニ依ツテ出來上ツタモノデアリマス、私ハ自分ノ觀念ト同時ニ、今回ノ増稅案ヲ至當ナリト認メタノデアリマス
ソレカラ平年度ニ於テ約八億千四百万圓、本年度六億四百万圓ノ増稅トナツテ居ル

ガ、ソレハドウ云フ風ナ關係デアアルコト云
フ風ナ御話デアリマスガ、ソレハ過渡期ノ
爲デアリマシテ、此ノ期ニ跨ツタ部類ガ、舊
稅ト新稅トニ依ツテ分レル結果デアリマス
ソレカラ物品稅ノ増加ハ物價ノ値上トナ
ルデハナイカ、斯ウ云フ御話デアリマスガ、
固ヨリ増稅サレタダケ値ガ上ル結果トナリ
マセウ、併シナガラ今回ノ物品稅ハ、所謂
奢侈的物品ニ對シテ多ク増稅ヲ致シテ居リ
マス、又國民生活ニ關係ノ薄イ方面ニ増稅
ヲ致シテ居ルノデアリマシテ、今日ノ時局
ニ於テソレ等ノ物品ヲ買ハレル人ガ、多少
ノ負擔ヲセラレルト云フコトハ、是ハ已ム
ヲ得ザルコトト考ヘルノデアリマス

購買力ノ收縮ヲ圖ルト言フガ、ソシナコト
ハ到底出來ナイコトデハナイカト云フ風ナ
御意見ノヤウデアリマシタガ、私ハソレハ
或ル程度效果ガアル、斯様ニ考ヘルノデア
リマス
ソレカラ個人ニ對シテ分類所得稅、綜合
所得稅、或ハ營業稅ト、三段構ヘノ課稅ヲス
ルト云フ風ニナツテ、甚ダ複雑ニナツテ居
ルガ、斯ウ云フ點ニ對シテハドウ考ヘルカ
ト云フ御話デアリマスケレドモ、御承知ノ
通り分類所得稅ハ一般ノ所得ニ對シ課稅ス
ルモノデアリマシテ、或ル程度、即チ五千圓
以上ノ收入ノアル人ニ對シマシテハ、之ヲ
綜合シテ相當程度ノ高率ナル課稅ヲ致スコ
トト致シマシタノハ、日本ノ今日ノ經濟上
カラ見マシテ、五千圓以上ノ收入ノアル人
ハ、今日ノ如キ時局ニ於テ相當ノ負擔ヲ願
ツテ差支ナイモノト斯様ニ考ヘテ決定致シ
タヤウナ譯デアリマス

豫算トノ關係ニ付テ、物價ガ上ツタ、サ
ウシタラ豫算ノ實行ガ出來ヌデハナイ
カ、斯様ナ御懸念ノヤウデアリマスガ、豫
算ニ關係ノアル物資ノ價格ノ變動ハ比較的
少イノデアリマシテ、是等ノ點ニ付キマシ
テハ豫算ノ範圍内ニ於テ、是非共實行致シ
タイト考ヘテ居ルノデアリマス

適合シタルモノデアルトシテ之ヲ採ツタノ
デアリマス、唯森田君ハ他ノ總テノ負債ニ
對シテ其ノ利子ヲ控除スルノガ至當デハナ
イカト云フ御話デアリマスガ、是ハ事業デ
アルトカ、或ハ其ノ利益ヲ生ム仕事ニ對シ
テ、ソレニ要スル所ノ費用ヲ引クト云フ意
味デアリマシテ、例ヘバ個人ノ家ニ於テ營
業スル爲ニ借入金ヲ致シテ居ル、ソレハヤ
ハリ借入金トシテ控除サレルノデアリマシ
テ、唯或ハ贅澤ヲスルトカ、或ハ奢侈ヲス
トルカ云フ爲ニ大キナ邸宅ニ住ムトカ何トカ
云フコトノ爲ニ金ヲ借リタトカ云フコトハ、
是ハ生産ヲ意味シナイモノデアリマスガ
故ニ、ソレ等ノ借金ノ利子マデ政府ガ控除
スルト云フコトハ適當デナイト思フノデア
リマス

今回ノ増稅ニ付テハ、生産ノ擴充ニ差支
ガアツテモ差支ナイト云フ風ナコトヲ、私
ガ申シタヤウニ御話デアリマスガ、此ノ度
ノ増稅ニ付キマシテハ、生産擴充ノ方面ニ
對シテハ、出來ルダケ支障ノナイヤウニ致
スト云フコトヲ主眼ト致シマシテ、第一ニ
ハ一割以下ノ利益ノ事業ニ對シマシテハ、
此ノ増稅ノ上ニ付テ十分ニ留意シテアルノ
デアリマス、生産擴充ガ今日ノ急務デア
ルコトハ固ヨリデアリマス、此ノ生産擴充ニ
影響ヲ少シデモ少クスルヤウニト云フコト
ニ付キマシテハ、十分注意ヲ拂ツタ考デア
リマス

次ニ所得稅ノ中デ相當所得ノ中カラ二割
ノ控除ヲシテ居ルノヲ廢止シテ、而シテ株
式ヲ得ル爲ニ要スル所ノ借入金ノ利子ヲ控
除スルト云フコトニシテ居ルガ、如何ナル
場合ニ於テモ銀行カラ借金致スノニモ一度
ハ必ズ自分ノ金ヲ出シテ、ソレヲ持ツテ來
テ其ノ上デナケレバ金ヲ借リルコトガ出來
スト云フ御話デアリマシタガ、ソレハ大體
ニ於テ左様デアリマス、併シナガラ現在ノ
經濟上ノ事情カラ申セバ或ル一定ノ預金ヲ
銀行ニ持ツテ行ツテ、直チニ銀行カラ其ノ
買ツタ株券ヲ受取ル方法モアルノデアリマ
ス、何レニセヨ兎ニ角株券ヲ擔保ニシテ金
ヲ借リタ部分ニ對シテハ、大體其ノ負債ノ
利子ヲ控除スルト云フコトハ、是カラ先仕
事ヲスル人ノ爲ニモ、亦經濟界ノ實情ニモ

又増稅トカ或ハ節約ト云フコトニ依ツテ、
官報號外 昭和十五年二月十日 衆議院議事速記第十號 所得稅法改正法律案外三十件 第一讀會(前會ノ續)

相續稅問題ニ對シテ御話ガアリマシタガ、
此ノ問題ハ常ニ相當議論ノアル問題デアリ
マスケレドモ、昨日來大體ニ於テ御答辯申
上ゲタ通りデアリマス、唯物納ト云フ問題
ニ付キマシテハ、是モ多年ノ問題デアリマ
スガ、事實ニ於テ之ヲ實行スルトハ容易
デアリマセヌノミナラズ、今日只今物納制
度ヲ實行スルト云フコトハ、其ノ實行上差
支ガアルノデアリマシテ、今回ハ採用シナ
カツタ譯デアリマス

建築稅ニ付テノ御話デアリマスガ、建築
ガ今日足ラスト云フコトハ吾々モ認メテ居
リマス、政府ニ於キマシテモ、小住宅ヲ建
テルコトニ付キマシテハ相當力ヲ致シテ居
ルノデアリマス、唯一萬圓ト云フ家ガ今日
ノ時代カラ見レバ極メテ小サイ家デア
ル、一萬圓位ノ家ヲ建テルノニ税金ヲ取ルト云
フノハ不都合ダト云フ御話デアリマスケレ
ドモ、私共ハ現在日本ノ全體ノ狀況カラ見

テ、一萬圓ノ家屋ヲ御建テニナル人ハ幾分
カノ負擔ヲサレル力ガアルモノト信ジテ居
ルノデアリマス(拍手)
狩獵稅ニ於テ所得稅ヲ納メテ居ル者ニ付
テハ高クナツテ居ルガ、サウ云フコトガ實
際ニ於テ取調ガ付カト云フ御尋デアリマ
スガ、此ノ問題ニ對シマシテハ、命令ニ依ツ
テ適當ナル方法ヲ講ジマシテ分ルヤウニス
ル考デ居リマス、大體私ノ御答ハ之ヲ以テ
終リマス(拍手)

國務大臣(伯爵兒玉秀雄君登壇)
森田君ノ御
質問ニ御答申上ゲマス、森田君ノ第一ノ質
問ハ今回ノ稅法ハ地方ノ財源ヲ潤渴セシム
ル虞ガアルト云フ御話デアリマシタガ、是
ハマダ法案ガ御手許ニ差上ゲルマデニ參リ
マセヌノデ、御心配ヲ掛ケタト思フノデア
リマスガ、先程モ御説明申上ゲタ通り、大
體地方自治活動ヲ阻礙スルコトハナイト云
フ考デ居ルノデアリマスガ、之ヲ數字ノ方
面カラ御説明ヲ申上ゲテ見マスト一層明白
デハナイカト思フノデアリマス、地方稅ノ
總額ガ約十億三千万圓デアリマス、其ノ中
獨立財源トシテ地方ニ與ヘマシタ地租、家
屋稅、殊ニ彈力性ニ富ンデ居リマス營業稅、
此ノ獨立財源ノ收入ガ五億二千万圓アリ
マス、ソレカラ今回新ニ設ケマシタル市町
村民稅ガ五千万圓、雜種稅、特別稅等ヲ合
セマシテ一億圓、合計十億五千万圓ノ中ニ、
地方財源トシテ與ヘラレタルモノガ六億八
千万圓程度ニアルノデアリマス、此ノ數字
ヲ御覽ニナリマシテモ如何ニ地方ノ財源ガ
豊富ニナツタカト云フコトノ御了解ガ付ク
コトト考ヘテ居リマス

次ニ國ノ委任事務ニ關スル問題デアリマ

スガ、最近地方ノ情勢ヲ見マスルト、國ノ委任事務ノ増加ガ著シイモノガアリ、是ガ爲ニ地方ノ官廳ガ頗ル困難ヲ感ジテ居ル、又財政上ニモソレガ影響ヲ及ボシテ居ルコトハ事實デアアルノデアリマス、是等ノコトヲ考ヘマシテ、今回分與稅中ノ配付稅ヲ設ケマシタノモ幾分其ノ意味ヲ含シテ居ルノデアリマスルガ、將來主義ト致シマシテ國ノ委任事務ヲ町村ニ委ネマスル場合ニ於テハ、國費ヲ以テ之ヲ分擔スルト云フ考ヲ以テ進シテ行キタイト思ツテ居リマス

次ニ地租營業稅等ハ地方カラ取上ゲテシマツテ居ルノデハナイカト云フ御話デアリマシタガ、是ハ全然異ツタル見解ヲ持テ居リマスノデ、今回地方ニ獨立稅トシテ地租營業稅及ビ家屋稅ヲ與ヘマシタノハ、地方ニ財源トシテ之ヲ與ヘタモノデアリマスノデ、是ガ徵收ノ便宜方法ト致シマシテ分與稅トシテ之ヲ取扱ツタル次第デアリマスノデ、其ノ稅源ハ全然地方民ニ之ヲ與ヘタノデアリマス、隨テ分與稅トシテ徵收致シマシタル此ノ三稅ノ稅額ハ、之ヲ全部地方ニ還元スルコトニ相成ツテ居ルノデアリマス、次ニ分與稅ニ付キマシテハ成ベク細カ

イ規定マデモ法律ニ於テ規定致シマシテ、森田君ノ御心配ノナイヤウニ致シタイト考ヘテ居リマス、最後ニ申上ゲテ置キタイノハ、此ノ新稅法ノ結果トシテ資力ノアル地方ハ獨立稅ニ依ツテ其ノ事務ヲ處辨シ、貧弱ナル町村ハ分與稅ニ依ツテ之ヲ救済シ、斯クシテ全國ノ市町村ガ綜合的ニ圓滿ナル發展ヲ期シ得ルト考ヘテ居ルノデアリマス(拍手)

(國務大臣藤原銀次郎君登壇)
○國務大臣(藤原銀次郎君) 森田君ニ御答

フ申上ゲマス、先以テ私ノ此ノ時局ニ對シテ抱イテ居リマスル所ノ考ヘ方ヲ申上ゲマシテ、同君ノ御諒解ヲ得テ置キタイト存ジマス、私ハ度々此ノ壇上ヨリモ申上ゲタノデアリマスガ、今回ノ此ノ時局ニ際シマシテ、財政經濟ノ政策ヲ樹立シテ參ルノニハ、從來ノ自由主義經濟ノヤウナ考ヘ方デハ到底之ヲ切抜ケルコトハ出來ナイ、ドウシテモ統制經濟、或ハ計畫經濟ト云フヤウナコトデ、之ヲ切抜ケナケレバナラナイモノデアルト云フコトハ繰返シテ申上ゲタ積リデアリマス、ソコデ若シモ其ノ方針ヲ以テ參リマスナラバ、我ガ國民ハ皆多少ノ不便不利ト云フモノガアリマシテモ、之ヲ忍ビテ協力シテ之ヲ突破シナケレバナラナイコトデアルト信ジテ居リマス、是ガ只今私

ガ考ヘテ居リマス所ノ考ヘ方デアリマシテ、時局以前十年若クハ五年以前ニ、森田君ト共ニ色々經濟政策ニ付テ主張致シタコトナドヲ御考ヘ下サイマシテ、今日ノ時局ニ際シテモ相變ラズ私ガ同様ノ考ヲ持ツテ居ルト云フ風ニ御考ニナリマシタナラバ、少々私ノ考ヘテ居リマスコトト相違シテ居リマスト云フコトヲ、茲ニ明ニ言明致シテ置キマス(拍手)

ソレカラ又同君ニ申上ゲタイノハ、低物價政策ヲ實行シマシテ、サウシテ生産擴充ヲスルト云フコトハ、一寸考ヘルト容易ナコトデハゴザイマセヌ、併シナガラハ出來ナイコトデハアリマセヌ、否今日ノ時局ニ於テハドウシテモ是デ行カナケレバナラナイノデアリマス、ソレ故ニ吾々ノ苦心シテ居ル所ハ、之ヲ如何ニ運用シテ、如何ニ實行シテ行カト云フコトガ、私共ノ大イニ苦心ヲ致シテ居ル所デゴザイマス

儲テ是カラ只今御質問ノ各論ニ入リマシテ御答ヲ申上ゲマスガ、先ヅ第一問ハ、今日百圓ノ利益ニ對シテ七十五圓モ稅ヲ取ツテ居ル、斯ウ云フ巨額ナ稅ヲ取ツテ、ソレデ生産擴充ガ果シテ出來ルカ、資本家ハ斯ノ如キ巨額ナ稅ヲ課セラレタナラバ、事業ヲ擴張スルト云フ精神ガ消耗シテシマフカラ、生産擴充ノ反對ノ效果ヲ爲スノデハナイカ、斯ウ云フ御趣意ノヤウニ承リマシタ、御議論トシテハ御尤モト拜聽致シマシタガ、又他ノ一面カラ考ヘテ見マスレバ、今日ノ時局ニ際シテ巨額ノ利益ヲ得ル者

ガ、此ノ國家ノ情勢ニ應ジテ多額ノ租稅ヲ納メルト云フコトハ、是ハ當然ノコトデハナイカト思ヒマス(ヒヤ／＼)ソレ故ニ時局産業又ハ其ノ他ノ産業ニ從事シテ、サウシテ時局ノ爲ニ思ヒモ寄ラナイ巨額ノ利益ヲ得タ者ニ對シテハ、政府ガ割合ニ高率ノ課稅ヲスルト云フコトモ、是ハ已ムヲ得ナイコトト信ジマス、併シサウ云フコトハ一面カラ已ムヲ得ナイトハ存ジマスルガ、他ノ一面ニ於テ事業經營ノ意氣ヲ沮喪セシメテ、生産擴充ニ妨害ヲ來スヤウナコトハ又避ケナケレバナラナイ、森田君モ能ク御承知ノコトト存ジマスガ、只今時局ニ直接又ハ間接ニ關係ノアル事業ハ相當巨額ノ利益ヲ得テ居リマス、其ノ他關係ガナクテモ一般ニ所謂販賣産業ト稱セラレテ、相當多額ノ利益ヲ得テ居ルモノモゴザイマシテ、都會ノ景氣ト云フモノハ非常ニ良好デアリマスガ、是等ハ要スルニ政府ノ豫算ガ相當ニ巨額ニ上リマシテ、政府ガ案外巨額ノ購買ヲ致シマスル、其ノ購買力ノ結果デアアルコトハ御承知ノ通りデアリマス、是等ノ殷賑産業ガ得マス所ノ多額ノ收入ヲ回收シテ資

本化シテ、サウシテ生産擴充ノ資源トスルト云フコトガ、政府ノ狙ツテ居リマス所デアリマスカラ、一面ニ於テハ多少ノ苦痛ハアリマスケレドモ、又斯ウ云フ半面ノ生産擴充ニ好都合ナル理由モゴザイマスノデ、彼此レ之ヲ睨ミ合セマシテ、以テ生産擴充ニ妨害ヲ來サザルヤウニスルト云フコトガ、私共ノ苦心シテ居ル所デゴザイマス、尙又事業家ハ御承知ノ通りニ事業慾ト云フモノガ旺盛デアリマスカラ、之ヲ能ク指導シテ參リマシタナラバ、續々ト此ノ生産擴充ニ投資スル者モ出テ參リマスシ、又政府モ其ノ方針ヲ以テ指導致シタイ考デゴザイマス、其ノ次ニ是ハ度々申上ゲルコトデアリマスガ、今日生産擴充ノ最大障礙トナツテ居リマスモノハ、何ト申シマシテモ資材ノ配給ノ圓滑ヲ缺イテ居ルコトデアリマス、其ノ次ニハ勞力ノ供給ガ段々窮屈ニナツテ來タコトデアリマス、其ノ次ハ資金ノ供給デアリマスガ、此ノ第一ノ資材配給ニ付キマシテハ、度々申上ゲタ通りニ、此ノ民間ノ平和産業ニ對シテモ成ベク資材ノ供給ヲ圓滿ニシテ、サウシテ生産擴充ニ妨害ニナラナイヤウニスル爲ニハ、色々關係諸官衙ノ間デ努力ヲ重ネテ居ルノデアリマシテ、出來ルダケノ努力ヲシテ此ノ配給ノ圓滿ヲ圖リタイト存ジテ居リマス

其ノ次ニ勞力ノ供給ノコトデアリマスガ、是亦御承知ノ通りノ狀態デアリマスカラ、出來ルダケ此ノ勞力ノ供給モ圓滿ニシタイト存ジテ居リマス、併シ此ノ點ニ付キマシテハ、是ハ私ノ獨自ノ考デゴザイマスガ、一寸簡單ニ申上ゲレバ、我國ハ古來勞力ガ過剩ノ國デアリマシテ、勞働力ガ非常ニ多カッタ國デアリマス、ソレ故ニ總テノ事業ニ於キ

マシテ、産業ニ於テモ、諸會社ニ致シマシ
テモ、政府ニ致シマシテモ、歐米各國ニ比
較致シマシレバ、實ニ豫想以上ノ人ヲ使ツテ
居リマシテ、斯様ニ澤山ナ人ヲ使ツテ仕事
ヲシテ居ルコトハ、恐ラク日本ハ世界デ以
テ有名ナ國デアラウト存ジマス、ソレデ吾
吾ハ今マデ我國ノ工業ノ經營ニ付テハ、成
ベク勞力ノ節約ヲシタイト云フ方針ヲ執ツ
テ居リマシタケレドモ、又一面ニ於テハ失
業者ヲ多クスルト云フコトモ國家ノ爲ニ宜
シクナイト存ジマシテ、彼レ此レ勞力節約
ト云フコトハ考ヘハ致シマシタケレドモ、
徹底的ニ之ヲ實行スル機會ガナカツタノデ
アリマス、今日ハ勞力ガ非常ニ不足ヲシテ
參リマシタ、斯ウ云フ機會ニハ是非トモ勞
力ノ節約ト云フコトヲ實行シテ、例ヘバ諸
會社銀行ニ致シマシテモ、諸官衙ニ致シマ
シテモ、出來ルダケ人手ヲ省イテ、僅カナ
人ヲ以テ多クノ仕事ノ能率ヲ擧ゲ、其ノ勞
務者ニ對シテハ出來ルダケ給與ヲ良クシテ
其ノ幸福ヲ圖ルト云フコトニシテ、歐米各
國デ盛ニ行ハレテ居リマス所ノ能率主義ノ
經營法ニ移シテ參ルト云フコトハ、今日ガ
絶好ノ機會ト信ジテ居リマス、ソレ故ニ斯
ウ云フヤウナ政策ヲ用ヒテ行キマシタナラ
バ、段々ニ勞力ノ供給ノ不足ト云フモノモ
補フコトガ出來ルヤウニナリマシテ、生産
擴充ニハ非常ナ好イ結果ヲ來スノデハナイ
カト信ジテ居リマス

又石炭増産ニ付テ色々ノ御説ガゴザイマ
シタ、是ハ度々申上ゲマス通りニ、成案ヲ
得マシタナラバ、其ノ節ニ何レ御協賛ヲ願
フト云フヤウナコトニ相成ルカト存ジマス
カラ、只今ハ其ノ御答辯ハ省略致シテ置キ
タイト存ジマス

尙又物品稅ノコトニ付キマシテ色々御説
ガゴザイマシタガ、是ハ殆ド全部奢侈品
ニナツテ居リマシテ、其ノ外ノ生活必需品
ナドニ付テハ、殆ド課稅セラレテ居ラスト
申シテモ宜シイ位デアリマスカラ、是亦低
物價政策ニ餘リ大シタ影響ハナイト信ジテ
居リマス(拍手)

〔國務大臣米内光政君登壇〕
○國務大臣(米内光政君) 御答ヲ致シマス、
御質問ノ第一ハ公債ノ發行方法ニ關スルコ
トデアリマスガ、能ク考ヘテ見マス、第二
ハ企畫院ノ問題デアリマスガ、企畫院ハ必
要ナ官廳デアリマスルカラ、是ハ廢止スル
考ハ持ツテ居リマセス

〔國務大臣島田俊雄君登壇〕
○國務大臣(島田俊雄君) 森田君ノ御質問
中産業組合ノ課稅ニ關スル點ニ付テノ御尋
ニ御答致シマス、産業組合ニ對スル課稅ノ
點ニ付キマシテハ、産業組合ノ本質ノ上カ
ラ考ヘマシテ、相當考慮ヲスベキコトガア
ルト存ズルノデアリマスルガ、唯今日ノ時
局ノ下ニ於キマシテ、臨時當分ノ處置ト致
シマシテ、擔稅力ノアル者ガ幾分ニテモ租
稅ノ負擔ヲスルト云フ此ノ建前カラ致シマ
シテ、他ノ特別法人ト共ニ應分ノ負擔ヲ致シ
テ、財政ノ上ニ協力ヲスルト云フコトハ已
ムヲ得ナイモノデアルト云フ考カラ之ヲ認
メタ次第デアリマス、此ノ事ハ昨日大藏大
臣提案ノ理由説明中ニモ述ベタ所デアリマ

スガ、隨テ其ノ課稅ノ點ニ付キマシテハ、
必要ナル經費ヲ差引キマシテ、剩餘金ノア
ルモノニ付テノミ課稅ヲスルト云フ方針ヲ
執リ、尙ホ此ノ町村區域ノ産業組合ニ付キ
マシテハ、更ニ御説ノ通りノ點ニ付キマシ
テ、擔稅力ノ點ニ付テ考慮致シマシテ、剩
餘金ノ極メテ少イモノニ對シマシテハ課稅
ヲ致サナイト云フヤウナ立テ方ニナツテ居
ル次第デアリマシテ、工業組合、商業組合、
其ノ他ノ所謂特別法人ト併セテ考ヘマシテ、
此ノ程度ノ課稅ハ已ムヲ得ザルモノト、斯
様ニ考ヘテ之ヲ認メタ次第デアリマス(拍
手)

○森田福市君 簡單デアリマスカラ自席カ
ラ……
○議長(小山松壽君) 許可致シマス
○森田福市君 只今各大臣カラ御答辯ガア
リマシタガ、甚ダ遺憾ナガラ更ニ要領ヲ得
マセス、他ノ一問一答ノ機會ニ於テ明瞭ニ
致シタイト思ヒマスガ、唯大藏大臣ハ私ノ
御尋シタコトヲ履違ヒニナツテ居ル點ガ多
多アリマス、平年度ノ八億一千四百萬圓、
十五年度ノ六億四百萬圓ハ其ノ數字ノ算出
ノ根據ハ何ニ依ツタカト私ハ問フタノデア
リマス、アナタガ御答ニナツタノハ平年度
ト十五年度トノ差額ヲ御述ニナツタノデア
リマスガ、私ハ差額ハ問ヒマセス、此ノ數
字ノ生ジタ根據ヲ尋ネタノデアリマスカラ
左様ニ御諒承ヲ願ヒタイ、其ノ他酒ノ問題
ニ對シテモ、或ハ購買力ノ吸收ニ對シテモ、
御答辯漏レガ澤山アリマス、内務大臣ハ私
ノ御尋申上ゲタ要旨ノ答辯ニハ一ツモ當ツ
テ居リマセス、私ハ色々ナ中央官廳ノ委任
事項ニ依ル地方ノ施設ニ對シテハ、全部國
家ガ負擔スル覺悟ガ出來テ居ルカト云フコ

トヲ御尋シタノデアリマス、アナタノ答辯
ハ前者ノ答辯ヲ其ノ儘御讀ミニナツタノデ、
私ノ質問トハ全然相違シテ居ルノデアリマ
スカラ、又速記録デモ御覽ニナツテ機會ヲ
見テ御答辯ニナラヌト、只今ノ答辯ハ的ガ
外レテ居リマス、ソレカラ商工大臣ノ御答
辯ハ私ハ肯定致シマセス、是モ他ノ機會ニ
讓ツテ置キマス、總理大臣ノ答辯ノ中デ企
畫院ハ必要デアルト仰シヤツタノデアリマ
スガ、吾々モ今日マデ必要デアラウト思ツ
テ居ツタノデアリマス、併シ必要ナ官廳デ
アルナラバ、今一番國家ノ大切ナ此ノ通貨
ノ膨脹シテ居ル時ニ、金ヨリモ物ガ大事デ
アルト云フヤウナ宣傳ヲヤルコトガ良クナ
イト思フノデアリマス、ソレニ對シテハ何
ノ御返事モナサラズニ、唯企畫院ハ必要デ
アルト言ハレハ、サウスルトヤハリ今放送シ
テ居ルヤウニ、物ガ大切デアツテ金ハドウ
デモ宜イト云フヤウナコトヲ繼續サセル御
考デアリマスカ、果シテサウデアアルナラバ
通貨ノ膨脹ハ彌ガ上ニモ増大致シマス、此
ノ滔々タル紙幣ノ價值ノ下ルノヲ、如何ナ
ル方法ニ依ツテ御食止メニナルノデアリマ
スカ、私ハ此ノ點ハ重大ナ問題デアルト思
ヒマス、斯ルアナタノ簡單ナ考ヲ以テ片付
ケ得ラレル問題デハナイト考ヘタノデアリ
マスガ、再ビ此ノ席上デ御答辯ニナルカ、
或ハ委員會ノ席上マデニ御考ニナツテ置イ
テ御答辯ニナルカ、是ハ最モ重點ヲ置クコ
トデアルト考ヘテ居ルノデアリマスカラ、
各大臣ノ御答辯ハ満足セザル旨ヲ申上ゲテ
質問ヲ打切ツテ置キマス

○議長(小山松壽君) 企畫院總裁ヨリ物資
動員計畫ニ付テ説明ノ爲發言ノ通告ガアリ

マス、尙ホ之ニ對シ政府ヨリ祕密會議ヲ要求セラレマシタ、仍テ是ヨリ會議ノ公開ヲ停メマス、傍聽人ノ退場ヲ命ジマス

物資動員計畫ノ説明ニ關スル件

〔午後五時二十八分祕密會ニ入ル〕

〔午後六時五分祕密會ヲ終ル〕

○議長(小山松壽君) 是ヨリ會議ヲ公開致シマス、傍聽人ヲ入場セシメマス——祕密會議ニ於キマシテハ、企畫院總裁ヨリ物資動員計畫ニ付テ説明ヲ聽取致シマシタ

○服部崎市君 殘餘ノ質疑ヲ延期シ、次會ニ之ヲ繼續スルコトトシ、本日ハ是ニテ散會セラレンコトヲ望ミマス

○議長(小山松壽君) 服部君ノ動議ニ御異議アリマセスカ

〔「異議ナシ」ト呼フ者アリ〕

○議長(小山松壽君) 御異議ナシト認メマス、仍テ動議ノ如ク決シマシタ、次會ノ議事日程ハ公報ヲ以テ通知致シマス、本日ハ是ニテ散會致シマス

午後六時七分散會

衆議院議事速記録第九號中正誤

頁 段 行 誤 正

一三二 二一〇 第四條 第十條